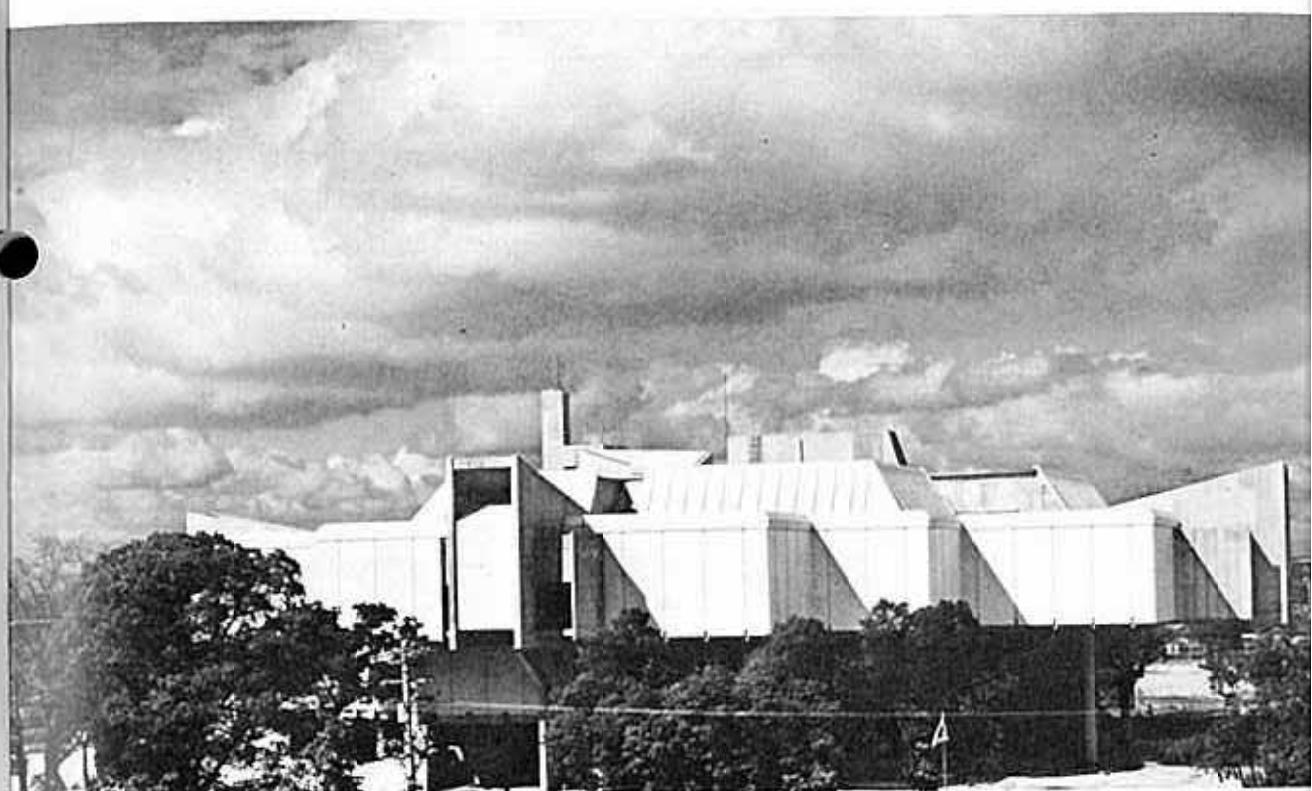


佐賀県立博物館

年報

昭和47年度

No. 3



佐賀県立博物館全景

はじめに

県立博物館が開館してから早くも2年有半が過ぎ、事業年度の上からいえば第3年度を終えたところであります。この間、当博物館協議会委員の方々をはじめ各界諸賢のご助言とご協力を受けつつ、いろいろの新規事業を実施し、多くの貴重な体験をしてきました。

おかげさまで、現在のところ、私達職員は当博物館の管理運営上の要点が何処にあるかを体得することができ、何を、いつ、どうすれば、およよそどのような結果が期待されるかという予測もできるようになりました。

しかし、このことは、これでもう万全であるという意味では決してなく、いわゆる創業期の基礎的修業を一応終え、博物館の運営がようやく軌道に乗りはじめたということであって、本格的に内容の充実と事業の発展をはかるのはいよいよこれからであると思っています。

当館は、開館以来その運営方針として、

1. 施設設備の整備とその効率的管理をはかる。
2. 博物館資料の調査研究と収集を積極的に進める。
3. 常設展並に各種企画展の内容充実に努める。
4. 普及事業、教育活動を拡大する。

ことに留意してきたのでありますが、これらのこととは、今後もなお一層の努力を続けねばならぬと思っています。

なかんずく、博物館事業の根幹をなす博物館資料の充実については、格段の工夫と努力が必要であると痛感しています。

当館の博物館資料の現状は、館報や年報で報告してきましたとおり、本県の歴史と文化の特色を示すものが年々蓄積されています。しかし、まだまだ、年代的にも、地域的にも、系統的にも空白や断層が少なくなく、従って展示事業の内容や普及事業、教育活動にも魅力が乏しいうらみがあります。

諸賢各位のご支援とご協力を願いしてやみません。

昭和48年5月

館長 古賀秀男

博物館管理の概況

1. 本館の沿革

- 昭和23年4月1日 佐賀県中央公民館設置条例に基づき、中央公民館設置。
- 昭和26年4月1日 中央公民館設置条例が廃止され、佐賀県文化館設置条例に基づく県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を、博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき、佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和42年度に設計を委託し、建設計画に着手し、昭和43年度から45年度にわたる継続事業として建設することになる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和44年1月23日 佐賀県立博物館起工式。
- 昭和45年4月1日 佐賀県文化館設置条例廃止。
佐賀県立博物館設置条例公布。
佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館竣工。
佐賀県立博物館設置条例施行。
博物館開設準備事務局廃止。
博物館職員の発令、館長以下18名。
佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式挙行
- 昭和45年10月15日 開館記念「桃山・江戸美術名作展」開催。11月3日まで。
- 昭和46年2月20日 開館記念「化石展」開催。3月25日まで。
- 昭和46年4月1日 職員の宿直制を廃止し、警備会社に夜間警備委託を実施。
- 昭和47年3月4日 鉄器、木器減圧含浸装置を研究室に設備。
- 昭和47年12月20日 城内公園の一部（西側駐車場、東側噴水）が佐賀土木事務所から博物館に管理委任される。

2. 博物館日誌 (昭和47年度)

47年

- 4月12日 池田知事、資本市場振興財團理事長・佐賀県東京県人会会長 山田義見氏を案内して来館
- 4月28日 県内博物館施設協議会（応接室）
- 5月5日 子供の日無料公開
- 5月10日 第12回九州博物館協議会総会（有明荘・当館）（12日まで）
- 5月18日 第40回独立美術協会展開場（5月28日まで）
- 5月21日 昭和47年度第1回博物館教室
- 5月28日 昭和47年度第2回博物館教室
- 5月31日 九州沖縄各県教育委員長来館
鍋島直泰氏外4名来館
- 6月4日 野鳥展開場（大展示室、6月25日まで）
- 6月11日 夕刊フクニチ歴史の旅会員52名来館
- 7月2日 昭和47年度第3回博物館教室
- 7月4日 「有明海・玄海漁撈具展」開場（大展示室、7月25日まで）
- 7月16日 昭和47年度第4回博物館教室（1班）
- 7月18日 第6回博物館研究講座「有明海の漁撈習俗について」 講師 副館長 木下之治氏
河村龍夫氏来館
- 7月22日 池田知事・国体委員・日本体育協会九州代表理事安川寛氏を案内して来館
- 7月24日 長崎県立美術博物館長松尾哲男氏ほか3名来館
- 7月26日 山口亮一画業展実行委員会
- 7月30日 昭和47年度第4回博物館教室（2班）
- 8月4日 「土生・久蘇遺跡展」開場（大展示室、8月25日まで）
- 8月5日 第7回博物館研究講座「土生遺跡の考古学上の価値について」 講師 副館長 木下之治氏
学芸員 木下巧氏 同森醇一朗氏
- 8月6日 昭和47年度第5回博物館教室
- 8月13日 ウ 第6回博物館教室
- 8月20日 ウ 第7回博物館教室
- 8月22日 博物館協議会開催（応接室）
県内離島中学生 169名館内見学
山口亮一画業展実行委員会（中展示室）
- 8月26日 職員異動発令

- 8月31日 山口亮一画業展実行委員会（中展示室）
- 9月6日 「山口亮一画業展」開場（9月15日まで）
山口三千也氏、中島快彦氏夫妻来館
福岡県文化会館長瓜生二成氏 長崎県立美術博物館長松尾哲男氏来館
- 9月13日 学制発布100年教育資料展展示協力委員会（応接室）
- 9月16日 明治大学教授大塚初重氏、同講師小林三郎氏来館
- 9月23日 「理科作品佐賀市支部展」開催（大展示室、9月26日まで）
- 9月28日 「理科作品県展」（大展示室、中展示室、10月4日まで）
- 10月4日 県理科作品展表彰式（大展示室）
- 10月10日 「蒼海・梧竹展」開場（11月2日まで）
中林健二氏夫妻来館
千葉大学教授高沢武雄氏「蒼海・梧竹展」観覧のため来館
蒼海・梧竹展座談会（応接室）
- 10月14日 第8回博物館研究講座「蒼海・梧竹の書について ーその鑑賞ー」
講師 佐賀大学助教授 土肥禎利氏
- 10月29日 東京・書宗院々長桑原翠邦氏ほか6名「蒼海・梧竹展」観覧のため来館
- 11月1日 NHK総合テレビ「話題の窓」で「蒼海・梧竹の書」放映
- 11月3日 武雄市市民集会所で「佐賀県立博物館移動展」開催（11月5日まで）
- 11月10日 有明町公民館で「佐賀県立博物館移動展」開催（11月12日まで）
- 11月11日 博物館協議会開催（応接室）
- 11月13日 ジェームズ・アンソール展開場式出席のためベルギー大阪総領事、ベルギー王立美術館
美術部長他来館
- 11月14日 ジェームズ・アンソール展開場（12月3日まで）
- 11月18日 第22回県美術展開場（11月26日まで）
- 11月20日 金沢文庫長酒井敬一氏来館
- 11月23日 大門遺跡展開場（佐賀玉屋、11月28日まで）
- 12月2日 「学制発布100年記念・教育資料展」開場（1月18日まで）
- 12月3日 ベルギー・アントワープ王立美術館々長ワルター・パンベセラーレ氏夫妻来館
- 12月5日 佐賀県高等学校美術展開場（12月10日まで）
- 12月7日 文部省社会教育局長今村武俊氏「教育資料展」観覧のため来館
- 12月13日 駒沢大学教授中島俊教氏施設調査のため来館
- 12月14日 熊本市立博物館長上村健一氏施設調査のため来館
- 12月27日 館内消防訓練

- 12月28日 京都大学助教授樋口隆康氏資料調査のため来館
執務納め式
- 48年
- 1月4日 執務始め式
- 1月13日 第9回博物館研究講座「学制100年をめぐる佐賀の教育」(中展示室)
講師 佐賀大学助教授 杉谷昭氏
- 1月15日 「学制発布100年記念教育資料展」、成人の日無料公開
- 1月24日 NHKテレビ、スタジオ102で「日本古地図、絵図展」放映
- 1月25日 「日本古地図・絵図展」開場(2月13日まで)
- 1月27日 「日本古地図・絵図展」講演会「世界地図学における日本の古地図」(中展示室)
講師 広島大学教授 米倉二郎氏
- 2月2日 大阪大学教授海野一隆氏「日本古地図・絵図展」観覧のため来館
- 2月6日 鍋島直泰氏ほか「日本古地図・絵図展」観覧のため来館
- 2月9日 「西日本地区県立図書館長会議」(中展示室)
- 2月13日 長崎県立美術博物館長松尾哲男氏、長崎県議会文教常任委員長、同副委員長ほか来館
- 2月20日 常設「佐賀県の歴史と文化展」開場
昭和47年度定期監査
- 2月23日 伊万里市東山代町白蛇山岩陰遺跡第2次発掘調査(3月5日まで)
- 2月24日 第10回博物館研究講座 「佐賀の化石について」(中展示室)
講師 佐賀大学講師 西田民雄氏
- 2月27日 博物館協議会開催(応接室)
- 3月7日 NHK総合テレビ「話題の窓」で「白蛇山岩陰遺跡第2次発掘」放映
- 3月25日 佐賀市文化財愛護少年団40名来館
- 3月26日 参議院議員鍋島直紹氏来館
- 3月31日 東京大学名誉教授三上次男氏、青山学院大学教授佐久間重男氏来館

3. 規模および施設

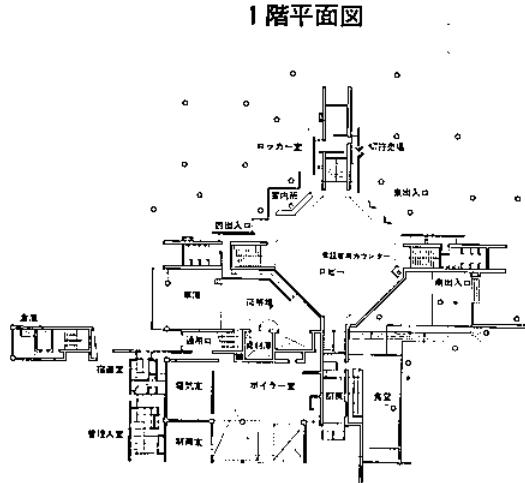
規 模

構 造	鉄筋コンクリート造 3階建
規 模	敷地面積 30,962.0 m ² (公園を含む)
	建築面積 2,149.1m ²
	延床面積 4,638.0m ²

施設概要

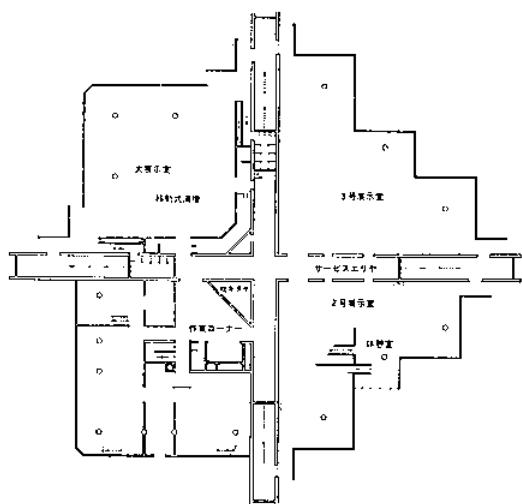
ロビー	電気室	48.0m ²
(案内所、常設展受付)	ボイラー室	157.0m ²
1号展示室	食堂	60.0m ²
2号展示室		
3号展示室		
大展示室		
中展示室		
研究室 (ガス、水道つき)		
事務室		
資料調査室		
撮影暗室		
車庫		
荷解場		

1階平面図

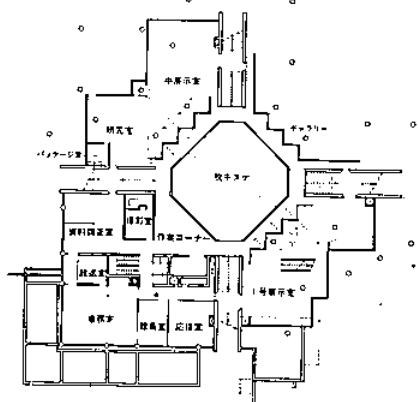


平 面 図

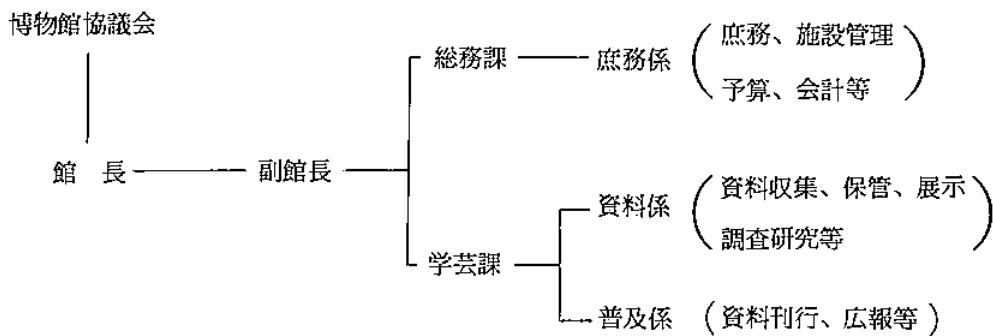
3階平面図



2階平面図



4. 組織



職員名簿 (48・3・31現在)

館 長	古 賀 秀 男	※人 事 異 動 昭和47年8月26日付
副 館 長	藤 光 辰 次	○転 入
総 務 課 長	納 富 武 一	副館長 藤光辰次 (県学校教育課長補佐より昇任)
庶 務 係 長	西 村 正 剛	学芸課普及係主事 音成阳道 (三神教育事務所主事より)
主 事	中 村 や を	総務課庶務係 小林静枝 (県教職員課福利係主事より)
ク	小 林 静 枝	○転 出
主 事 补	小 柳 武 久	佐賀県教育委員会文化財調査監 木下之治 (副館長より)
技 師 补	吉 岡 喬 二	県社会教育課青少年係社会教育主事 堤 清雄 (学芸課普及係学芸員より)
事 務 員 (守)	坂 井 卓 次	県教職員課給付係主事 吉田宣之 (総務課主事より)
ク (ク)	小 石 武 彦	県文化課文化財社会教育主事 木下 巧 (学芸課資料係学芸員より)
ク (用)	竹 下 仁 三	○館内異動 (昇任)
技 師 (兼)	江 口 実	学芸課長、兼学芸課普及係長事務取扱 手塚静雄 (学芸課資料係長より)
ク (ク)	小 森 清	学芸課資料係長 尾形善郎 (学芸課資料係学芸員補より)
学 芸 課 長	手 塚 静 雄	○兼 務
資 料 係 長	尾 形 善 郎	学芸課資料係学芸員 木下 巧 (文化課文化財係社会教育主事)
学芸員 (兼)	木 下 巧	県文化課文化財係社会教育主事 森 醇一郎 (学芸課資料係学芸員)
ク	森 醇 一 郎	
ク	三 輪 英 夫	
嘱 託	久 保 儀 郎	
ク	浜 野 四 郎	
普及係長 (兼)	手 塚 静 雄	
主 事	音 成 昭 道	

5. 博物館協議会

委員名簿

種別	氏名	現職名	住所
学校会教育、教育関係	高添門司	佐賀県公民館連合会会长	伊万里市大川町大川野1098
	掛林貞夫	多久市教育長	多久市北多久町大字多久原4537
	大島貞四郎	嬉野町立不動小学校長	藤津郡嬉野町下吉田大字下野乙
	植松泰勇	佐賀県立神埼高等学校長	神埼郡神埼町本堀
学識経験者	星野英夫	祐徳博物館長	鹿島市城内
	内山良男	佐賀県社会教育研究会会長	佐賀市本庄町5本杉
	村山宅美	佐賀県短期大学教授振興会会長	佐賀市北川副町本原4本柳
	三好不二雄	佐賀県立芸術館講師(非常勤)佐賀県立芸術館嘱託(~)	佐賀市赤松町11-11
	石本秀雄	佐賀県教育学部教授 佐賀県造形教育研究会会長	佐賀市中の小路9-29
	難波栄	佐賀新聞社論説委員	佐賀市唐人1丁目県営住宅235
	牛島国枝	佐賀県議會議員	佐賀市城内2丁目12番12号
	岸田勉	佐賀大学教育学部教授	久留米市津福本町931の4
	岡崎敬	九州大学文学部教授	福岡市東区香椎御幸町公務員宿舎9-19
	米倉利昭	佐賀大学教育学部助教授	佐賀市本庄町本庄子5本杉528-1 (佐賀市本庄町本庄子5本杉528-1)
	平田寛	九州大学文学部助教授	福岡市南区長住3丁目62-504 公団住宅

協議会開催状況

第1回

開催月日 昭和47年8月22日

- 議題
- 委員の紹介ならびに、委員長、副委員長の選出
 - 昭和46年度事業報告
 - 昭和47年度事業について
 - 施設設備の管理について
 - 資料の調査と収集について
 - 展示事業について
 - 普及事業について
 - その他

第2回

開催月日 昭和47年11月11日

- 議題
- 昭和48年度事業計画並びに予算要求について
 - その他

第3回

開催月日 昭和48年2月27日

- 議題
- 昭和48年度の事業計画について
 - その他

6. 昭和47年度歳出予算

昭和47年度歳出予算一覧

科 目	予算額(単位円)
1. 博物館運営費	16,132,000
管理運営費	15,524,000
会議及び研修費	298,000
博物館協議会費	260,000
九州博物館総会開催費	50,000
2. 資料整備費	17,378,000
資料購入費	<u>15,382,000</u>
資料整理費	1,996,000
3. 調査研究費	571,000
研究費	270,000
調査費	301,000
4. 特別企画展開催費	2,517,000
野鳥展	44,000
土生・久蘇遺跡資料展	87,000
理科作品展	30,000
蒼海・梧竹展	1,601,000
学制発布100年記念教育資料展	755,000
5. 常設展示費	633,000
6. 普及事業費	526,000
研究講座費	46,000
巡回展示費	47,000
資料刊行費	433,000
計	37,757,000

博物館事業の概況

1. 常 設 展

佐賀県の歴史と文化展

主 催 佐賀県立博物館
会 期 昭和47年4月1日～昭和47年9月30日（前期）
昭和48年2月20日～昭和48年3月31日（後期）
会 場 1・2・3号展示室
観 覧 料 個人
大人50円 大・高生30円 中・小生20円
団体 (団体は20名以上)
大人30円 大・高生20円 中・小生10円

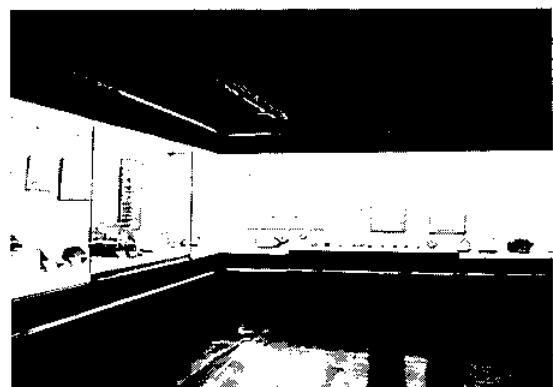
展示概況

自然史 (1号展示室)

常設展における自然史部門の展示は、郷土総合博物館という本館の性格から、考古、歴史につなぐような展示を前提として考えた。

佐賀県の地史を紹介するコーナーは、大型県内地質図と玄武岩、安山岩、花こう岩、蛇紋岩、球状閃綠岩、結晶質石灰岩、石英、砂岩など、県内の代表的な岩石標本を、一面だけ研磨して美しい面と岩石の組成をみせ、一般の人にも親しみのある展示にした。また県内の第三紀層から出た化石も動物、植物に分けて展示し、県内地史紹介の一部にした。

現在の佐賀県を紹介するものとして、昭和43年度、文化庁が社会教育課に委託してつくった、県内植生分布図をパネル化して、その前に、ブナ科、クスノキ科、スマレ科の標本を展示し、県内植物を紹介した。その他、「有明海干がたと生物」模型はウミタケ、ワラスボを少し手なおしをし、新たに「有明海干がたの風景」と「ムツゴロウの生態」を加えたので、全国的に珍らしい有明海の生物と風景を紹介することができた。さらにカブトガニは伊万里高校生物部の協力で、産卵、孵化、幼生（2、3、5、10年生）成体を発生別に展示することができた。



自然史展示室

考古・歴史（民俗を含む）（2・3号展示室）

佐賀県は古代より大陸文化の門戸として栄え、大陸の進んだ多くの文化をいち早く受けついだ地方である。

近年、県内各地で縄文時代より古墳時代まで、各種の遺跡の発掘調査が実施され、その出土品については全国的に注目されているところである。その出土資料を当館に一括保存、展示した。

なかでも、縄文時代後・晩期の大門遺跡より出土した完形土器や十字形土製品・石製品は県内で

数少ない出土例として注目される。弥生時代では当時の水田農耕生活の所産である三日月町土生遺跡出土の鋤・鍬等の各種木器を展示しこれらの資料によって、2000年前の稻作文明の一端がうかがえる。さらに当時の墓地である甕棺や石棺から出土した船載鏡・武器・装身具を展示した。

古墳時代の展示資料には、小城町久蘇遺跡出土の各種加工用木器や多くの鉄器を展示し、祭りの道具である各種祭祀用品、古墳壁画に描かれた当時の風俗を知ることのできる原始絵画があり、さらに平安時代から盛んになつた経塚の出土品等を特別展示し、先史時代から奈良・平安時代までの佐賀県の祖先の生活の一端がうかがえるようにした。



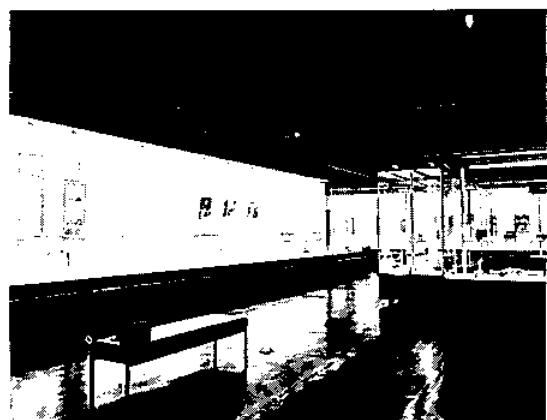
考古展示室

歴史部門は、仏教関係資料に法隆寺金堂壁画模写「阿弥陀如来像」（大塚櫟山写）「円鑑禪師坐像」（重要文化財）などのほか、古瓦、仏画、写経など8点。近世資料は今山陣で大友八郎親秀を討ち取ったといわれる「二間半の槍」など龍造寺隆信関係と文禄、慶長の役に関する肥前名護屋城関係の資料を中心に、近世における肥前の国の動きをとらえる資料を展示した。

また、幕末・維新の資料として鍋島淳一郎（直大）に接種している「種痘の図」をはじめ、長崎警備、精煉方関係など鍋島直正の開明的な施策を

秀島成忠が記録した絵図を中心とした展示している。さらに、佐賀藩が全国的に威力を示した戊辰戦争や佐賀の乱に関する資料をテーマごとに展示した。

南面固定ケースには、前期の仏像彫刻にかわって刀剣関係を展示した。



歴史展示室

美術工芸部門の絵画資料は、3号展示室の西側と北側の全固定ケースを利用して近代洋画を展観した。展示の内容は、近代洋画界に顕著な功績のあった百武兼行、久米桂一郎、岡田三郎助をはじめ本県出身の代表的洋画家を主体に明治初期から昭和に至る近代洋画の流れを追うもので、さらに参考出品として藤島武二、青木繁の優品も展示した。

展示のねらいとしては近代洋画史を概観することにあるが、青木繁コーナーをはじめ個々の作品鑑賞にも充分たえうる展観とした。

工芸関係では、日本で始めて完成された磁器製品の流れを初期伊万里系、古伊万里系、柿右衛門系、藩窯系の順に展開し、古唐津系では、慶長末年と云われる飴緑釉緋目文大鉢をはじめ岸嶽古窯の茶碗、ぐいのみの素朴な唐津陶の土味、釉調がよくうかがわれた。

今回は、近世の陶芸技術を現代に受けつぎ高く評価されている12代中里太郎右衛門、12代今泉今右衛門、12代酒井田柿右衛門、奥川忠右衛門、松本佩山の作品を展示了。

なお、参考品として、琉球壺屋窯の厨子甕（安政元年1854）を展示して一般の鑑賞に供した。

この窯は、鹿児島の苗代川の陶工の開窯になるもので、九州系、朝鮮系、南方系の技術が交流し、伝統技法がよく守られている窯である。



美術・工芸展示室

出 品 目 錄

自然史資料

(1号展示室)

- 解説パネル 佐賀県の地質
- パネル 佐賀県地質図 (180cm×180cm)
- 研磨した佐賀県の岩石標本
 - 玄武岩 (多久市東多久町波木産)
 - 安山岩 (多久市多久町東ノ原産)
 - 流紋岩 (松脂岩) (西松浦郡有田町黒髪山産)
 - 花こう岩 (佐賀郡大和町下田産)
 - 蛇紋岩 (東松浦郡厳木町産)
 - 球状閃緑岩 (多久市北多久町相浦産)
- 産地の遠景写真
- 解説パネル
 - 石英 (けい石) (佐賀郡富士町杉山産)
 - 結晶質石灰岩 (大理石) (東松浦郡厳木町産)
 - 砂岩 (東松浦郡相知町佐里産)
 - 砂岩 (東松浦郡厳木町浪瀬産)

佐賀県の化石

- 第三紀時代の西部九州の古地理図
- 解説パネル、県内巡査コース (2枚)
- ヨコヤマオウムガイ(北波多村稗田鮎返採集)
- ウニ類 (伊万里市立川鉱業所採集)
- ブンブクチャガマの仲間 //
- フナクイムシ //
- キリガイダマシ //
- カキ //
- 二枚貝 ドミニア //
- 二枚貝 //
- 二枚貝 //
- 二枚貝 //
- 卷貝、ビワガイの仲間 //
- 巻貝塊 //
- 二枚貝塊 (伊万里市楠久、麻生鉱業所採集)

- シキシマバス (杵島郡北方鉱業所採集)
- 珪化木 (多久市北多久町、坑内産)
- ブナの葉 (2個) (伊万里立川鉱業所採集)
- ヤナギの葉 ク
- メタセコイアの葉 (2個) ク
- カブトガニ (伊万里高校資料提供)
- 卵、発生順序、カラー写真4枚
- 2年幼生標本
- 3ク ク
- 5ク ク
- 10ク ク
- 15年位・成体 (オス)
- 30年位・成体 (オス、メス)、各2体
- 佐賀県のチョウ類標本、5箱、120点
- 佐賀県の甲虫類、6箱、222点
- 佐賀県植生図 (180cm×180cm)
- クスノキ科標本
- バリバリノキ
- カゴノキ
- イヌガシ
- アオモジ
- ヤマコウバシ
- ハマビワ
- ウスゲクロモジ
- ケクロモジ
- シロモジ
- タブノキ
- クスノキ
- ブナ科標本
- ツクバネガシ
- ウラジロガシ
- シラガシ
- イチイガシ
- アカガシ
- ナラガシワ
- カシワ
- ミズナラ
- クリ
- ブナ
- スマレ科標本
- スマレ
- タチツボスマレ
- コタチツボスマレ
- エイサンスマレ
- アカネスマレ
- ヒメアギスマレ
- 国指定、天然記念物
- アヤメ科、エヒメアヤメ
- シダ植物ウラジロ科、カネコシダ
- 佐賀県の森林の垂直分布図パネル
脊振山、経ヶ岳
- 有明海の風物
- 春の入陽 (カラー四ッ切)
- 冬の干がた (カラー四ッ切)
- はねるムツゴロウ、2枚、(カラー四ッ切)
ムツゴロウの生態、白黒、全紙
- 恐竜 (タイラノザウルス) 模型
3m×7.5m
- 地質時代年表パネル
- 佐賀県模型 (2万5千分の1)
- 佐賀市街地図 (2千5百分の1)
- 唐津市街地図 (ク ク)
- 有明海干がたと生物模型

考古歴史資料（2・3号展示室）

〔先土器時代〕

- 瀬戸内海諸水道発見のナウマン象の化石他
- ナウマン象歯の化石（県内）
- 黒曜石（伊万里市腰岳採集）・安山岩の原石（大町町鬼の鼻山採集）
- 三年山（多久市）・茶園原遺跡（多久市）出土の尖頭器
- 馬渡島切立遺跡出土のナイフ形石器・台形石器
- 伊古石遺跡（西有田町）出土のナイフ形石器

〔縄文時代〕

- 盗人岩洞穴遺跡（西有田町）出土の櫛目文土器・押型文土器・条痕文土器（早期）
- 伊勢山遺跡（基山町）出土の押型文土器（早期）
- 大門遺跡（佐賀市）出土の曾畠系土器（前期）
- 朝鮮半島始源期の土器（韓国漢沙里遺跡出土）
- 坂の下遺跡（西有田町）出土完形土器
- 坂の下遺跡出土各種縄文土器
- 坂の下遺跡出土の紡錘車形土製品・土鍤
- 坂の下遺跡出土の顔面把手・朱塗り土器
- 青森県石神遺跡出土の完形縄文土器（中期）
- 青森県石神遺跡出土の完形縄文土器（後期・晩期）
- 大門遺跡出土の縄文時代終末期の完形土器
- 盗人岩洞穴遺跡（西有田町）出土の石槍
- 伊古石遺跡出土の尖頭状石器
- 縄文時代の石匙（県内各地出土）
- 伊古石・坂の下遺跡出土の各種石鏃
- 盗人岩洞穴・坂の下遺跡出土のすり石
- 大門遺跡出土の十字形土製品・石製品
- 竜王遺跡（三日月町）出土の十字形石製品

〔弥生時代〕

- 土生（三日月町）・晴田（小城町）・大友遺跡（呼子町）出土の土器

- 土生遺跡出土の石鏃・土弾・抉入石斧・石戈・石劍・磨製石斧・石のみ・石庖丁
- 土生遺跡出土の炭化米
- 福岡県志賀島出土の金印（国宝・模造）
- 桜馬場遺跡（唐津市）出土の鏡・銅釧・巴形銅器他（重要文化財）
- 横田遺跡（東背振村）出土の方格規矩鏡
- 桃島山遺跡（北方町）出土の内行花文鏡・方格規矩鏡
- 一本谷遺跡（上峰村）出土の内行花文鏡
- 十三塚遺跡（大和町）出土の方格規矩鏡
- 横田遺跡出土の鐵劍・素環頭太刀
- 久保泉（佐賀市）・目達原遺跡（三田川町）出土の銅劍
- 久保田遺跡（久保田町）出土の鐵劍
- 二タ子遺跡（神埼町）出土の鐵戈
- 牛の尾神社（小城町）伝世の銅戈
- 殷時代の各種銅器
- 土生遺跡出土の二叉鉗・板鉗と柄・石斧着柄
- 大友遺跡（呼子町）出土の各種貝釧・貝製胸飾・サンゴ製釧・管玉・ガラス玉
- 桃島山遺跡（北方町）出土の勾玉・管玉
- 東宮裾跡（北方町）出土の巴形銅器・管玉

〔古墳時代〕

- 久蘇遺跡（小城町）出土の木製巻取具・木槌・豎杵
- 久蘇・成章遺跡出土の各種土師器
- 東十郎古墳群（鳥栖市）出土の須恵器
- 一本松古墳群（小城町）・熊本山古墳（佐賀市）出土の鐵刀・鐵劍
- 妻山石棺（白石町）出土の素環頭太刀
- 新開古墳（白石町）出土の素環頭太刀
- 一本松古墳群出土の鐵鏃
- 山浦（鳥栖市）・竜王崎古墳（有明町）出土の鐸
- 一の谷古墳（白石町）出土の短甲
- 東十郎古墳出土の鐵製轡・鐵斧・鐵鎌・鐵鉄・あてびし・たがね

- 天神尾古墳（神崎町）出土の鉄製鋤先
- 伊勢山祭祀遺跡（基山町）出土の手捏器台・土器・土製鏡・土製勾玉・土製鉢・土製丸玉・滑石製勾玉・滑石製平玉・滑石製有孔円盤
- 竜王崎古墳（有明町）出土の金銅製冠
- 朝日石棺遺跡（神崎町）出土の石釧
- 竜王崎・天神尾（神崎町）・勇猛山古墳（北方町）出土の金張耳環
- 竜王崎古墳（有明町）出土の銀線巻耳環 金工品
- 鬼塚・山浦・山王山・熊本山・竜王崎古墳出土の首飾
- 県内各地古墳出土の勾玉
- 竜王崎古墳出土の水晶切子玉・ガラス丸玉・土製丸玉・碧玉製管玉
- 関行丸古墳（佐賀市）出土のガラス丸玉
- 竜王崎古墳出土の金銅製鉢
- 朝日石棺出土の四獸鏡
- 奎路寺古墳（伊万里市）出土の三角縁三神三獸鏡
- 熊本山古墳出土の四獸鏡
- 花納丸古墳（佐賀市）出土の変形文鏡
- 竜王崎古墳出土の七獸鏡
- 小隈古墳（大和町）出土の内行花文鏡
- 関行丸古墳（佐賀市）出土の変形文鏡・珠文鏡
- 太田古墳（鳥栖市）石室模型
- 永池古墳（北方町）・新開古墳の線刻文様石

〔仏教関係資料〕

- 山崎経塚（多久市）出土一括遺物
- セセリ谷経塚（相知町）出土一括遺物
- 仏法堤経塚（大町町）出土一括遺物
- 脊振山経塚出土一括遺物
- 天山出土（多久市東多久町）の陶製經筒
- 阿弥陀如来像（法隆寺金堂壁画模写）
- 大願寺廃寺跡出土 鐙瓦1
- 国分寺跡出土 鐙瓦1、宇瓦1

- 木造聖観音立像（重要文化財模造）
- 木造円鑑禪師（順空和尚）坐像（重要文化財）
- 金字妙法蓮華經写経 至元6年2巻
- 不動明王三尊図像

〔近世資料〕

- 竜造寺隆信肖像画
- 大友八郎討取りの槍1、模造 槍1
- 竜造寺隆信の感状（写）
- 今山陣跡（写真）
- 肥前名護屋城瓦2点
- 名護屋古城の図
- 名護屋城跡（写真）
- 朱印状（秀吉から直茂あて）
- 菊桐紋蒔絵仕器（湯桶、水桶、角盥、柄杓）
- 朝鮮國禮曹の諭告文

〔幕末維新資料〕

- 鍋島直正の肖像画
- 鍋島直正書1幅
- 忠宣公蘭艦乗込図
- 鍋島直正一代記4点
- 伊東玄朴手訳和蘭字典2
- 伊東玄朴訳医療正始初篇6巻
- 種痘所跡記念碑（写真）
- 伊東玄朴の墓（写真）
- 種痘の図
- 英國製顕微鏡
- 金武良哲の手製顕微鏡
- 長崎港佐賀藩砲台図
- 異国船風俗器物見取図
- 白帆注進録
- 佐賀藩製造蒸気船模型（写真）
- 佐賀藩製造蒸気機関車模型（写真）
- 精煉方使用のオランダ製真空ポンプ
- 精煉方銘徳利
- 精煉方使用の磁製化学実験用容器2点
- 精煉方製ガラス器3点

- 蒸気車運転の図
- 島神七着用の官軍軍服
- 朝倉弾蔵の遺書
- 戊辰戦争感状
- 戊辰戦争使用の小旗・軍符
- 佐賀藩砲兵隊・彰義隊を攻撃する図
- 江藤新平書
- 佐賀の乱・小銃弾10個
- 佐賀の乱で使用された銃2
- 佐賀の乱・口述書
- 江藤新平肖像(写真)
- 佐賀の役記念碑(写真)

[刀剣資料]

- 刀 初代忠吉 銘 肥前国住人源忠吉
- 刀 初代忠吉 表銘肥前国武藏大掾藤原忠廣
裏銘 寛永八年二月吉日
- 脇差 二代忠吉 銘 近江大掾藤原忠廣
- 刀 初代忠吉 表銘 肥前国住藤原忠廣
裏銘 寛永七年八月吉日
- 刀 三代忠吉 銘 肥前国住陸奥守忠吉
- 刀 六代・七代忠吉合作
表銘 肥前国近江守忠吉
裏銘 同息 橋本忠佐衛門尉
忠廣
- 脇差 九代忠吉 銘 肥前国忠吉
- 刀 九代忠吉 銘 肥前国忠吉
- 黒色蠟塗大小拵
- 杏葉文糸捲太刀拵
- 槍 銘 肥前国忠吉
- 薙刀 銘 無銘
- 初代 肥前国忠吉肖像画
- 藤原正広家累代肖像画
- 肥前刀嫡伝系図考
- 初代肥前国忠吉墓地(写真)
- 忠吉家累代墓地(写真)
- 藤原正広代々使用の石舟(写真)

美術・工芸資料

(3号展示室)

[古唐津系]

- 古唐津大壺
あめりょく ゆうくしまん
- 飴釉柳目文大鉢
うんかくそくわんもん
- 雲鶴象嵌文鉢
- 飴釉叩き手壺
あめりょくねい てつぼ
- 飴釉流し水指
- 絵唐津水指
- 松絵つる首徳利
- 藤の川内船徳利
- ぐいのみ
- ぐいのみ
- ぐいのみ
- ぐいのみ
- 茶碗
- 朝鮮唐津茶碗
- 茶碗
- 茶碗
- 徳利
- 徳利
- 朝鮮唐津茶碗
- 絵唐津皿
- 四方皿
りょくわく
- 緑釉花瓶
あめりゅう
- 飴釉花瓶
- 朝鮮唐津徳利
- 絵唐津茶碗
- ぐいのみ
いんしき
- 辰砂茶碗
- すり鉢
- 元和四年銘入陶片
- 染付花蝶文平皿
そめつけからとうしん
- 染付草花文徳利
さひゆうそめつけうきもん
- 錦釉染付兎文台皿
きぬめつきとうめんわん
- 染付松梅文筒形碗
そめつけまつうめんづかにわん

[初期伊万里系]

- 染付花蝶文平皿
そめつけからとうしん
- 染付草花文徳利
さひゆうそめつけうきもん
- 錦釉染付兎文台皿
きぬめつきとうめんわん
- 染付松梅文筒形碗
そめつけまつうめんづかにわん

- 青磁茶碗
- 染付草花文徳利
- [古伊万里系]
 - 彩絵風俗図徳利
 - 染錦婦人像
 - 御所車風俗図ひげ皿
 - 唐子絵手付瓶（1対）
 - 彩絵亀甲花詰文角瓶
 - 錆釉牡丹唐獅子角瓶
 - 染付花鳥文水注
 - 染付VOC皿
 - 彩絵風俗図八角壺
 - 彩絵萬曆写鉢
 - 花模様皿
 - 唐花模様蓋物
 - 唐花模様鉢
 - 見込唐人図蓋物

[柿右衛門系]

- 染付花鳥文徳利
- 彩絵花蝶図輪花型深鉢
- 濁手彩絵花蝶八橋文壺
- 彩絵梅菊文井
- 濁手花鳥文蓋物
- 染付花鳥文壺
- 彩絵草花文壺
- 濁手花鳥文壺

[藩窯系]

- 染付藩窯絵図大皿
- 染付青磁耳付花器
- 染付青磁扇文高台皿
- 色鍋島更紗文高台皿
- 茶櫻絵高台皿
- 波頭文高台皿
- 鍋島青磁秋草文高台皿
- 色鍋島桃絵高台皿
- 水草文高台皿

[現代]

- 白磁牡丹彫文花瓶 奥川忠右衛門作
- 濁手彩絵草花文蓋物 故12代酒井田柿右衛門作
- 色鍋島更紗文八角大鉢 12代今泉今右衛門作
- 唐津叩手壺 12代中里太郎右衛門作
- 金獸文布目五彩大鉢 故松本佩山作

[参考品]

- 厨子龜 琉球 壺屋

[絵画]

- 「鮭」 油彩 伝高橋由一作
- 「イタリー風景」油彩 百武兼行作
- 「マンドリンを持つ少女」油彩 百武兼行作
- 「タンバリンを持つ少女」油彩 百武兼行作
- 「老婦人像」 油彩 百武兼行作
- 「肖像（久米桂一郎）」油彩 小代為重作
- 「フランス風景」油彩 久米桂一郎作
- 「姉の肖像」パステル 久米桂一郎作
- 「消水寺」油彩 久米桂一郎作
- 「加茂川の新緑」油彩 久米桂一郎作
- 「秋景」 油彩 久米桂一郎作
- 「花野」 油彩 岡田三郎助作
- 「バラ」 油彩 岡田三郎助作
- 「裸婦」 パステル 藤島武二作
- 「裸婦」 油彩 藤島武二作
- 「男の像」 水彩 青木繁作
- 「ランプ」 水彩 青木繁作
- 「絵かるた」 水彩 青木繁作
- 「絵葉書」 水彩 青木繁作
- 「女」 水彩 青木繁作
- 「書（歌）」 水彩 青木繁作
- 「神話」 油彩 青木繁作
- 「佐賀風景」油彩 青木繁作
- 「浴女」 水彩 青木繁作
- 「夕焼けの海」 油彩 青木繁作
- 「木下秀康大尉像」油彩 青木繁作

2. 企画展

(1) 第40回独立美術協会展

主 催 佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館
 後 援 佐賀県文化会議、佐賀美術協会
 佐賀県造形教育研究会

会 期 昭和47年5月18日～5月28日

会 場 2・3号展示室

観覧料 個人

大人 150円 大・高生 100円 中・小生 50円

団体（団体は20名以上） 大人 120円 大・高生 70円 中・小生 30円

展示概況

独立美術協会は、昭和5年、二科会、国画会、春陽会の一部の人達が加わり創立された最も有力な美術団体の一つで、既存の団体からはなれ、新時代の美術を確立することを目標に今日におよんでいる。

もともとフォーピュラムを主体としてきたが、抽象、シュールなどの傾向がみられ、それぞれ個性化され、日本の感覚が加味され、全体として底辺に独立調ともいえる共通したものが流れしており、日本の洋画界にたえず新風をおこしながら活動を続けている。

毎年秋、公募展を開催しているが、本県では、14年ぶりの独立展で力作100点が展覧された。

出 品 目 錄

バラの迷路	竹内 晟
退屈な風景	松本 英一郎
半獣の神話	宮崎 精一
丘の上	鳥居 敏文
寓話	広瀬 通秀
潮	松藤 真澄
哀歌	○福岡 奉彦
光を求める人々	横地 康国
懶惰坊	針生 鎮郎
十化月	○古賀 猛
蹟身	○森 通
飛鳥	○高崎 文夫
帰鳥	高間 潤七
モニュメント	寺島 壱
カスベ遊歩	高森 明
筑後路(A)	平井 光典

風通しのよい部屋	今井 信吾
黒い鳥と白い鳥の海	妹尾 正彦
入江のある風景	江口 良
シルクロードの女	緑川 広太郎
イルクーツク聖堂	松島 正幸
少女	林 武
虚像と実像	奎田 たけを
瓶	鳥 海青
舟型と昔がたり	○吉田 児西
日	藤岡 繕一
連	坂本 善
なし	赤星 孝一
白いクレタ	○井手 誠一
にくや	○吉武 研司
オンザ・コーナー	○久保 博邦
蒼い風	○山田 直行
小さな群れ	○松田 綏一

その他合計 100点陳列〇印は佐賀県関係者

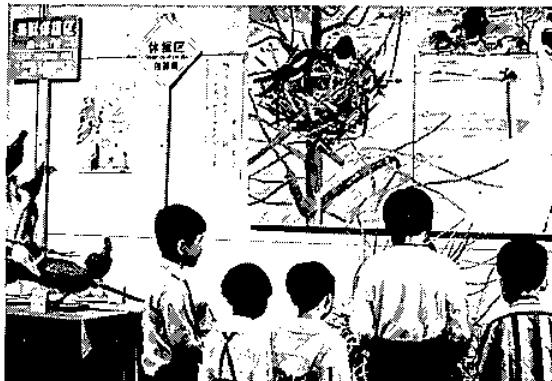
(2)野鳥展

主 催 佐賀県立博物館

会 期 昭和47年 6月 4日～6月25日

会 場 大展示室

観覧料 常設展と併設のため観覧料は別途徴収しなかった。



野鳥展会場

展示概況

自然保護と野鳥知識の紹介と普及のため、昨年度につづいて開催した。会場は大展示室を使用したので、約3分の2を展示場として使用、残りを映写会場として使い、NHK佐賀局から寄贈された、「カササギの里」のフィルムを、定期的に毎日1回、土曜日曜には2回、その他団体などの希望者には隨時、映写して県鳥カササギの生態の紹介につとめた。

会場にはマツヒノキで仮設をつくり、絶えず録音した野鳥の声の流れる中で、展示はすべて野鳥の紹介一色におおわれた。

展示物は剥製標本、パネル、古巣と架設用巣箱と卵、野鳥生態写真などであったが、このうちでも有明海干がたの大型パネルの前に配置したアオサギ、クロサギ、ガンカモ類の展示と、昭和47年2月20日伊万里市東山代干拓で採取されたマナヅルの剥製標本、有田町泉山、川浪養治氏の筆によるキジとマナヅルの日本画は注目される展示品であった。

自然保護が大きな社会問題になっているためだろうか、「野鳥保護」のための、巣箱のつくり方、巣箱のいろいろ、野鳥の見分け方などのパネルは好評で、いろいろ質問する人などもあって、有意義な展示会であった。

出 品 目 錄

カラス科

カササギ(開翅)

カササギ(台なし)

カラス

カケス

ホシガラス

コクマルガラス

カケス

キンパラ科

スズメ

アトリ科

ホオジロ(オス、3)

ホオジロ(メス)

ミヤマホオジロ

カシラダカ

ベニマシコ

アトリ

イスカ

クロジ(オス)

クロジ(メス)

ウソ(メス)

ウソ(オス)

ベニヒワ

コカワラヒワ

シメ

イカル

メジロ科

メジロ

ヒヨドリ科

ヒヨドリ

モズ科

モズ (2)

ハト科

キジバト

アオバト

ヒレンジヤク科

ヒレンジヤク

キレンジヤク科

キレンジヤク



ツグミ科

コマドリ

ノゴマ (オス)

ノゴマ (メス)

ツグミ

八丈ツグミ

シロハラ

アカハラ

クロツグミ

シロツグミ (白化、珍種)

オオトラツグミ

トラツグミ

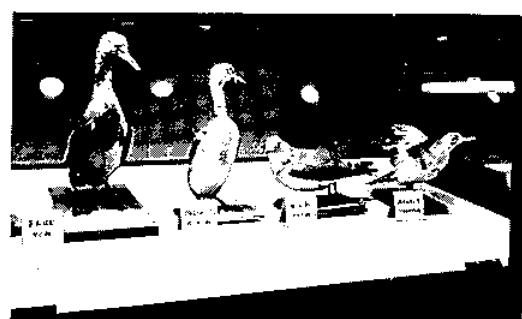
マミジロ

ヒタキ科

ヒタキ

オオルリ

ジョウビタキ



キバシリ科

キバシリ

シジュウガラ科

シジュウガラ

ヤマガラ科

ヤマガラ

キジ科

コジュケイ (2)

ヤマドリ (オス、2)

コウライキジ (オス)

ニホンキジ (オス)

ニホンキジ (メス、2)

ウズラ

サギ科

コサギ

クロサギ (2)

ゴイサギ

ミヅゴイ

アオサギ

シギ科

タマシギ (オス)

タマシギ (メス)

クサシギ

クサシギ (開翅)

ヤマシギ

チュウシヤクシギ

ダイシャクシギ

クイナ科

ツルクイナ

バン

カイツブリ科

カンムリカイツブリ

カワセミ科

ヤマセミ（オス、2）

カワセミ

アカショウビン（昭37、5、23、北多久袖ノ木原）



カモメ科

カモメ

ミズナギドリ科

ミズナギドリ

ウ科

ウミウ

アビ科

オオハム

キツツキ科

ナミエオオアカゲラ（メス）

アオゲラ

アリスイ

ワシタカ科

タカ

ツミ

ハイタカ

フクロウ科

オオコノハズク

トラフズク

キュウシュウフクロウ（2）

ペンギン科

アデリーペンギン（昭33、3、6 太洋丸）

ガンカモ科

ヨシガモ（オス、2）

ヨシガモ（メス、2）

カルガモ（開翅）

カルガモ

オシドリ（オス、1・メス、1）

ヒドリガモ（オス、3）

ツクシガモ

ビロウドキンクロ

コガモ

マガモ（オス、2）

マガモ（メス、2）

ハシビロガモ

オナガガモ

トモエガモ

ヒシクイ

ヨタカ科

ヨタカ



◎館有の卵と巣

カササギの巣（1）

コゲラの巣（2）

アオゲラの巣（1）

ウグイスの巣（1）

オオヨシキリの巣（2）、卵（3）

ホオジロの巣（2）、卵（1）

エナガの巣（1）

ヒヨドリの巣

セツカの巣（1）

○架設用巣箱（2）

◎県内協力出品標本

ツクシガモ

カワガラス

コミミズク

ツグミ

オシドリ

◎野鳥生態写真

カササギ

キジ

バン

カイツブリ

シラサギ

アオサギ

ツクシガモ

カルガモ

コガモ

カラス

ホオジロ

キセキレイ

マナヅル

ナベヅル

ヒヨドリ

コゲラ

スズメ

◎パネル

カササギの巣



鳥の部分名称

巣箱のいろいろ

野鳥の飼育手続

野鳥の見分け方

◎録音放送

野鳥の声

◎録画放映

N H K 寄贈、カササギの里

◎特別展示

マナヅル (伊万里市)

コブハクチョウ (北山ダム、湖畔荘)

(3)有明海・玄海漁撈具展

主 催 佐賀県立博物館
 会 期 昭和47年7月4日～7月25日
 会 場 大展示場
 観覧料 常設展と併設のため観覧料は別途徴収しなかった。



展示概況

有明海・玄海漁撈具展会場

当館所蔵で国の重要民俗資料指定の有明海の漁撈具98種 189点と玄海の捕鯨用具を中心とした漁撈用具55種94点を展示し、佐賀の二つの海を舞台に生きてきた人々の生活の歴史と知恵をふりかえることが出来るよう展示の工夫を行った。

もともと有明海と玄海は、佐賀県の南東部と北西部に位置している海で、その海をとりまく地形と生活様式の歴史は、まったく対象的な性格をもっている。

有明海沿岸は沖積土層が年々堆積し、潮の干満の差がはげしく、それによってできる干潟には特有の魚介類が生息し、それを捕獲する漁撈具や漁撈法には、極めて特色ある習俗が見られる。しかし、現在は有明海のり栽培によって、これらの漁法は急速に衰微しつつある。一方玄海沿岸は対島海流で浸蝕作用が続き海進やリアス式海岸にみられる景勝の地形が多い。それに海流にのって北上してきた鯨を捕獲する特有の漁法があったが、時代の趨勢によって絶えてしまった。

この展示会は、前年にひきつづき2回目であるが、今年度は、会場の都合で出品点数を大幅にふやし、特に有明海漁撈用具の中、網用具41点と玄海の漁類標本34点は初公開の資料であった。また、川副町の園田正夫氏からは、有明海の漁業権を物語る秘蔵の「御判板札状」および「御判物書状」を特別出品していただき観覧者の注目をあびた。

出 品 目 錄

干潟漁撈具	(32種 53点)		
素板	1	うなぎてば (捕獲用)	1
円座	1	うなぎはさみ	3
押桶	1	うなぎぬき	1
むつつり竿	1	にぎり	1
むつつり針	3	どうまるかご	3
むつどう廻し網	1	すばかき	3
むつほりぐわ	2	さしあい	1
たきやっぱ	4	うみたけねじ	2
てば	1	がねてば	3
うなぎかき	3	かにかご	1
うなぎうけ	1	べーかご	1
		うざ	2

うけ網	1
ひら流し網	1
はじ網	1
ちょっとすき (網)	1
あみとり網	1
あげまきつり	3
めかじやーひき	1
かぎ	2
手がんづめ	1

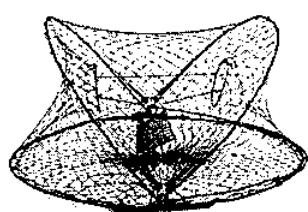


素板・押桶・円座

養殖貝採集用具 (14種 14点)

かき用

かき種とり	1
たねとり	2
かきよせ	1
かきおとし	1
あやかきとり	1
かきあらい (かきいれ)	1
せっかはさみ	1
赤貝用	
たねとり網	1
赤貝たねとり (歩行用)	1
赤貝むき	1
手網 (たぶ)	1
貝とり網	1
貝あらいかご	1
よどごし	1



かにかご

網用具及び付属品 (13種 41点)

竹あみぬき	1
はさみ	1
あぐい	10
うおがた	1
おもり (陶器、同筒形)	2
ク (鉄釣)	1
ク (コンクリート製馬蹄形)	1
うき桶	1
木うき	2
うきだる (おけだる)	1
浮竹	2
竹うき	2
うき (ビン玉、ガラス製)	3
ク (浮子、プラスチック製)	3
たこつぼ (素焼き)	4
ク (貝製)	4
ぶんちん	2
舟・生活用具 (23種 29点)	
角舟	1
こんにゃくてんま	1
あかくみ (ポンプ式)	1
ク (手くみ)	1
うお舟	1
うっとい (うおすくい)	1
池巣 (大・小)	2
うなぎ池巣	1
水がめ	1
じろ	1
釜	1
まくら箱	1
米入れ箱	1
米洗いてば	1
膳	1
湯だる	1
おひつ	1
ふかほこ	1
つめかき (がたおし)	1

洋ランプ	4
赤ランプ	1
角ランプ	1
どんざ	1
みの	1

有明海産魚貝類標本（ホルマリンづけ）
(10種10点)

わらすば	1
さより	1
しやこ	1
むつごろう	1
かわあい	1
あげまき	1
ありあけしらうお	1
ありあけもどき	1
がざみ（ありあけがに）	1
しおまねき	1

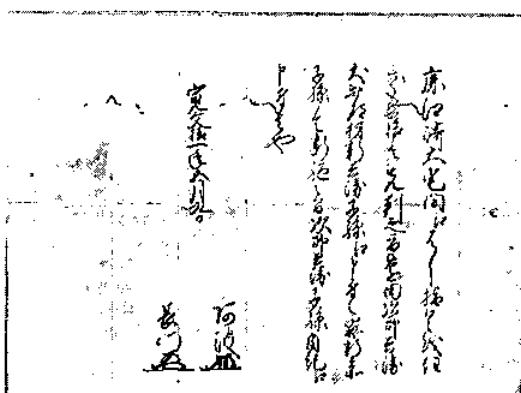
その他	(6種9点)
有明漁撈習俗図	3巻
鴨銃	1
火薬つめ棒	1
鴨の剥製（飛形）	1
立干網関係古記録	2
慶長10年8月14日安順書状（板）	1
寛文11年5月9日阿波長門書状	1
重要民俗資料指定書（額入り）	1



御判物板札

解説・地図パネル (6点)

有明海・玄海漁撈具展にあたって	1
有明海	1
有明海の漁港・干潟図	1
有明海の水鳥	1
海図	2



御判物

写真パネル (23点)

沖の島参り	2
竹崎港	1
かに網あげ（竹崎沖）	1
はじ網（竹羽瀬）	1
さし網（かし網の一種）	1
はぜつり	1
干潮時の干潟	1
たてぼし網張り	1
園田二郎兵衛の記念碑	1
干潟上を進む素板	1
むつごろう掘り	1
むつごろう	1
むつごろう釣り	1
わらすばかき	1
まがに（しおまねき）とり	1
養殖貝採集	1
三角網使用のつちぞこおし	1
つくし鴨	3
むつづり絵図	1
うみたけねじの図	1

捕鯨用具 (18種 25点)			
捕鯨砲	1	ひらさば	2
捕鯨砲覆い、もり綱おおい	2	まあじ	2
とっぷう	1	うみたなご	1
伝声管	1	うすめばる	1
でげんぱり	1	きつねめばる	1
じゃんす	2	うすばはぎ	1
もり	1	ゆめかさご	1
もり綱	1	めいたがれい	1
引き綱	1	とかげごち	1
よろず	1	かいわり	1
大切庖丁	2	ひら	1
はらい	2	めがねうお	1
手かぎ	1	めじな	1
かぎ	2	まはた	1
小骨切り	1	ハタ科の魚	1
いるかもり	3	くえ	1
三叉もり	1	その他	6
砥石および砥石入れ	1		
その他 (5種 18点)			
小川島漁業協同組合旗 (錦王丸)	1	解説・地図パネル (2点)	
どんざ	1	玄海の捕鯨	1
鯨化石	7	玄海捕鯨の基地小川島 (地図)	1
肥前国産物図考 (第4帖)	1		
鯨類絵巻 (平凡社本)	6	写真パネル (15点)	
ク (近世長崎文化資料刊行会本)	2	捕鯨基地小川島遠望	1
うち一部はコピー		小川島の現況	1
玄海産魚類標本 (32種 35点)		田島神社	1
きんちゃくだい	1	第三代中尾甚六の墓塔 (呼子町竜昌院)	1
ちだい	1	鯨児供養塔 (呼子町ク)	1
しきしまはなだい	1	三重塔と笠塔婆 (小川島観音堂)	1
くろだい	1	鯨児供養塔スケッチ図 (ク)	1
いしがきだい	1	発射前の捕鯨砲	1
まとうだい	1	大東丸	1
いしだい	1	鯨 (昭和5年七つ釜沖で捕獲)	1
あかむつ	1	鯨解体風景	2
いさき	1	山見場	1
あかいさき	2	小川島の納屋場図 (肥前国産物図考)	1
		網とり法による捕鯨図 (ク)	1

(4)土生・久蘇遺跡資料展

主 催 佐賀県立博物館

会 期 昭和47年8月4日～8月25日

会 場 大展示室

観覧料 常設展と併設のため観覧料は別途徴収しなかった。

展示概況

佐賀沖積平野の水田地帯に立地する小城郡三日月町土生遺跡と小城郡小城町久蘇遺跡は、昭和46年9月から11月にかけて県教育委員会によって発掘調査が実施されたもので、この展示は、原始農耕文化の理解を出土遺物によつて深めてもらい、あわせて文化財保護意識の高揚を図るもので、県社会教育課の協力を得て実施した。また観覧者の理解をはかるため図録「土生・久蘇遺跡展」を作成した。

出 品 目 錄

石器類——石斧・石庖丁・石鎌・凹石

・巻取具・槌・石斧の着柄他

土器類——壺・甕・鉢・器台その他弥生式土器

建築材——柱根・礎板他

・土師器

食料植物——炭化米・木の実・爪

土製品——土弾・紡錘車・カマド脚

パネル——遺跡・発掘状況・重要遺構・遺物・

木製品——平鋸・二叉鋸・三叉鋸・火鑓臼・杵

出土状況・解説

(5)山口亮一画業展

主 催 山口亮一画業展実行委員会、佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館、佐賀美術協会

会 期 昭和47年9月6日～9月15日

会 場 大展示室、中展示室

観覧料

個人

大人 100円 大・高生60円 中・小生30円

団体 (団体は20名以上)

大人 80円 大・高生40円中・小生20円



展示概況

佐賀美術協会の60年にわたる活動は佐賀県の文化界に不滅の光を放っている。この佐賀美術協会の生みの親であり、育ての親である山口亮一の足跡は郷土に大きな波紋を残していると云えよう。

この画業展は、彼の制作活動の全貌をかえりみるため代表作100余点の作品とともに、スケッチ帖、揮毫品などをあわせて展示し、一般の鑑賞に資し盛況であった。

出 品 目 錄

第1期 明治40年美校時代から大正時代まで

婦人像

12P ク

男裸 (習作)

12P 明40

婦人像

8F ク

背(習作)	20M	々
秋の日	12P	42
自画像	8F	々
わらや	12P	43
落葉	25P	45
はちの花	12P	45
阿蘇大觀望	8F	大4
なが夜	2F	々
鉄砲ゆり	50F	7
山湯の宿	12F	9
風景(神野村)	4F	9
山百合	50F	9
鮭	10F	9
露島の野花	4F	10
鮭	25P	10
桜	12P	10
刺繡	4F	10
鳥と子供	100M	11



鳥と子ども 100F 大正11年

木かげ	50F	11
薔薇	10F	12
おきな草	3F	12
場末の冬	25P	25
花	12F	12
図画の時間	8F	13
芍薬	8F	13

夫婦老樟	40M	13
庭の菊		14
桃咲く頃	30M	15
みどりの庭	100M	15
縁陰読書	15変	15

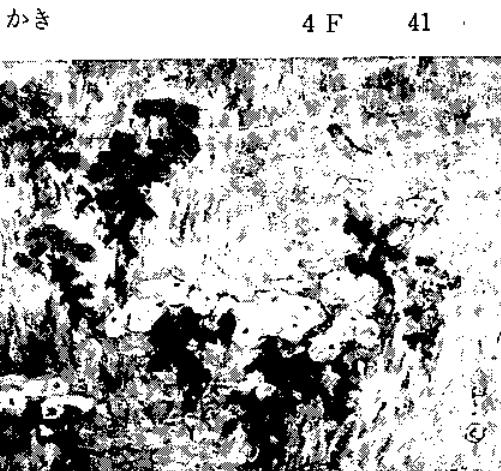
第2期 昭和初期

薔薇	10F	昭2
婦人像	15F	3
菊花	12F	5
自像	25F	6
自画像	10F	8
菊	12F	8
手	10F	8
桃	10F	8
鉄包ゆり	25F	10
白いバラ	40F	12
ノーゼンカヅラ	8F	
バラ	10F	
いものこ	3F	
六月の木かげ	6F	
かんな		
ぶどう		変
勅銀支店	4F	
バラ	4F	

第3期 戦前・戦後

山百合	8F	15
田植	80変	18
干魚	4F	22
庭の雪	25F	23
塩物	12P	24
植物	12P	24
麦と黒	50F	24
炉ばた	30F	24
風景	M	24
冬瓜	20F	24
カラー	20F	24
バラ	12P	24

牛の尾	8 F	25
虹	8 F	25
ふな	10 F	25
寒鮎	10 F	25
鮒子など	15 P	25
焼鮒子と筍	8 F	25
畑の菊	15 F	26
裏庭のぼたん	8 F	25
第4期 昭和30年後から絶筆まで		
風神雷神	屏風	26
白ぼたん	10 F	26
バラ	10 F	
庭	12 F	30
黒ぼたん	8 F	30
山百合など	20 F	30
肥後しようぶ	10 F	30
野菊	10 F	30
仁比山土偶	3 F	31
お堀端	10 F	32
山里	15 P	32
石榴	3 F	32
阿弥陀三尊仏	8 F	32
つばにさした肥後菖蒲	8 F	32
種	50 F	33
晩秋	30 F	33
ぼたん	4 F	34
漁港	12 F	34
えものの鳥	8 F	35
草 (ところ)	10 F	36
末頃 (おわるころ)	40 F	40
薔薇	12 F	38
久留米にて	4 F	40
小鳥の菊	8 F	41
かちがらす	3 F	41
種	40 F	41
ひまわり	15 F	41
湊の海岸	4 F	41
マルボーロ	12 F	41
木立	6 F	41



雀と菊花 25 F 昭和42年

菊と雀	8 F	42
黄菊白菊	10 F	42
雀と菊花	25 F	42
はちのざくろ	8 F	42
ザクロ	4 F	42
加喜	4 F	42
ざくろ (絶筆)	6 F	42



はちのざくろ 8 F 昭和42年

色紙・スケッチブックその他	
ひなの図	軸もの
額皿	陶板
武者人形	色紙
柳田神社絵巻	1巻
墓石拓本	軸もの

(6)理科作品展

○佐賀市支部展

主 催 佐賀県立博物館、佐賀県理科教育振興会佐賀支部
会 期 昭和47年9月23日～9月26日
会 場 大展示室
観覧料 無料
出品数 小学校 115、中学校45、計 160
入選数 小学校35、中学校17、計52

○佐賀県展

主 催 佐賀県立博物館、佐賀県理科教育振興会
会 期 昭和47年9月28日～10月4日
会 場 大・中展示室
観覧料 無料
出品数 小学校 190、中学校55、高等学校10 合計 255
特選数 小学校34、中学校18、高等学校10 合計62
入選数 小学校38、中学校16、高等学校 0 合計54

(7)蒼海・梧竹展

主 催 佐賀県立博物館
会 期 昭和47年10月10日～11月7日
会 場 1・2・3号展示室大展示室
観覧料 個人
大人 100円 大・高生50円 中・小生30円
団体（団体は20名以上）
大人50円 大・高生30円 中・小生20円

展示概況

佐賀県が生んだ明治の元勲であり書家である副島蒼海と近代日本の代表的書家である中林梧竹は、ともに同郷の士として、また書家として深い親交があった。今回の展観は、この2人の書家の遺作を広く県内外にもとめ、未発表資料、新発見資料をも含めてその代表的作品を紹介し、あらためて蒼海・梧竹の偉業を見直すとともに、広く一般の観覧に供する目的で企画した。



出品物としては、蒼海・梧竹の作品（かな、古文、篆書、隸書、楷書、行書、草書、画）ならびに拓本、遺品（印章、硯、筆その他）のうち、蒼海関係約100点、梧竹関係約150点を展覧した。（会期中2回入替展示）なお、当展は県内のみならず県外からの反響も多大で、関東・関西方面からの観覧者も多かった。

講演会 期日：昭和47年10月14日 会場：博物館中展示室

講師：佐賀大学助教授 土肥禎利氏

演題：蒼海・梧竹の書について ——その鑑賞——

出 品 目 錄 (积文)

(蒼 海)

- | | |
|---|---|
| 1 薔薇香處。丁丑秋日。孔一正之。 | 国、無意平生清濯纓 |
| 2 我武維揚。 | 十月十四夜 |
| 3 書幅。 | 月明皓々鑾園柯、鳥鵠有鳴驚起多、愁揭
弧燈情辭、出窺懸象夜如何、青天星宿稀
々影、碧水魚龍走走波、不怪凝霜如雪色、
菁華時節已皆過 |
| 4 峨眉山月半輪秋。影入平羌江水流。
夜発消溪向三峽。不見思君下渝州。 | 十月既望 |
| 5 楊花落盡子規啼。聞說龍標過五溪。
我寄愁心與明月。隨風直到夜郎西。 | 華表鶴鳴聆自遙、一輪皎月挂青霄、群山
木靜迎霜露、萬里江寒上夜湖、北斗欄干
光尚燦、朔風櫂馬志相驕、久云黃帝為何
曲、廣樂鈞天仔細調 |
| 6 我怨前年中野生。膽能斗大滿忠誠。
悲歌慷慨固園首。國府君來是圖明。 | 十月十七夜 |
| 7 我老未登鐘鼎文。沽名一代建何勲。史籀
不起倉公邈。漫草鐘口璫夜分。夜與人論
仙字。 | 白門月桂響鳴勾、沢國冬生霜降饒、數個
小星明竹外、一双寒鶲集楊稍、介虫饜飫
江湖濶、鴻雁回翔碧落遙、何處荒雞頻欲起、
漏更三點夜過之 |
| 8 鑾輿遙出千門柳。閣道回看上苑花。
雲裏帝城雙鳳闕。雨中春樹萬人家。 | 十月十八夜 |
| 9 北州有豪士。貧賤以爲賢。會友西鄉氏。
胎之平素篇。果期珠玉。碎。夙厭瓦甃全。
而吾相見晚。握手一忻然。贈蒼先生。 | 苒々白兔走相過、長昊無涯月色多、余影
直排騷客闋、細光折入織人梭、戚霜稜蕭
寒疊地、衰襟扶疎葉下柯、慮是江娘傷久
別、洞庭水滿涌全波。 |
| 10 常棣之華。鄂不韞々。
風今之人。莫若兄弟。 | 佐賀城中多士家。城頭塗泥長蒹葭。士家
俸給元薄菲。講武習文業務之。齋儉守家
女常事。檻櫓衣袴治粧遲。爲夫製服夸尚
美。以其舊服掩兒子。改大為小彼續此。
或裁或截表易裡。彌縫初成驚節更。蒹葭
蒼蒼霜瑟瑟起。一夕城中搗衣聲。餘響動城
月放明。 |
| 11 塞虜乘秋下。天兵出漢家。
將軍分虎竹。戰士臥龍沙。
迥月隨弓影。胡霜搢劍花。
玉閨殊未人。少婦莫長嗟。 | |
| 12 日夕把經朝建章。衣裳常惹御爐香。
君皇恩澤元深重。未敢放臣烟水鄉。 | |
| 13 江水悠々江月清。鸞鷟啼斷夜三更。起看
江月不知倦。愁聽滄浪一曲情。對岸涼光
楓葉急。半湾晴雪荻花驚。仍知屈子憂君 | |

- 15 如今論交四海中。庄內諸子意何雄。平素
層懷多感慨。無人不說南洲翁。田口正次
君教正。
- 16 與君終日語。問意一何頻。聰明司耳目。
怡養爲精神。弟子由求在。孔門肆益新。
篤舊爲人義。此他豈復珍。 寄大塚君。
- 17 呴呼岳公何蚤死。若不蚤死國之祉。中原
可復敵可殲。王室豈至咏如燬。姪人悞國
古來同。忠而得死不獨公。唯公之死尤慘
怛。唯公之忠尤大忠。帝鑑孔章靈在天。
墓木南向悲偶然。鼓厲天下忠義氣。後賢
宜須則前賢。千載之下欽高義。自東海來
表敬意。維時十月天如拭。湖山呈送清明
色。
- 余謁岳武穆墓。而作是詩。而曾聆故西鄉
君之凶音。今書之。富田君教正。
- 18 書幅
- 19 書幅
- 20 笑接阿學
- 21 笑接阿兄舉酒觥。新年雲物爲誰明。我室
一德從克己。昨夜百雷轟滿城。人事無根
吳異。喧風故扇早棲清。當今大詔開言路。
須使庶民歌太平。三矢藤太郎君見訪。席
上賦呈。
- 22 愛之愛之。愛之不已。四海同胞。孰非神
子。左之右之。母彼母此。其愛伊何。導
以道揆。用而無盡。惟愛（爲爾）。化
々生々。萬福千祉。
- 23 仲尼彖淵昔歲誨何書。堯舜益稷當朝從此
事。
- 24 嘣：鹿鳴。食野之雋。我有嘉賓。鼓瑟吹
笙。吹笙鼓簧。承筐是將。人之好我。示
我周行。
- 25 嘣：鹿鳴。食野之蒿。我有嘉賓。德音孔
昭。視民不佻。君子是則是倣。我有旨酒。
嘉賓式燕以敖。
- 26 紅華紫葉纏々自垂。自葩黃萼粲々俱聯。
陽春德澤允亦然也。
- 27 斯語。
- 28 五夜漏聲催曉箭。九重春色醉仙桃。
江月去人只數尺。風燈照夜欲三更。
沙頭宿鷺聯拳靜。般尾跳魚撥剝鳴。
- 29 井山足下平安匾在山丹釀潤其以納此之帝
日溝絳未知因酒談之口况如何百祈祺頌。
- 30 窓觀滄海日。門對浙江潮。
- 31 小子廬如野航坐。居然恰受兩三人。縱令
杜甫能來此。詩史唯將與我親。
- 32 金桂紛々下林鱗。碧天明月清風夜。我將
從此宴瑤池。何物黃龍更堪跨。 歲乙酉。
- 33 宇宙之間六尺存、無衣無褐又何言、風前
散髮神仏秀、杯下躊躇古仏尊、極便陶公
嘲賤狀、從來韓信紀曾恩、空山字木威菘
麗、日月分的華彩翻
- 34 伊豫多豪士。不知孰是一。縱有能弁舌。
詎若告心實。未口窮自。某來告別。漫然
量餘。書此贈云。
- 35 知君侍舊主。啓益定如何。談及吾曹事。
爲言衰病多。 寄伊藤子。
- 36 仁義。
- 37 忠孝。
- 38 凤凰臺上鳳凰遊。鳳去臺空江自流。吳宮
花草埋幽逕。晉代衣冠成故邱。三山半落
青天外。二水中分白鶯洲。忽爲浮雲能蔽
日。長安不見使人愁。
- 丞相祠堂何處尋。錦官城外柏森森。映階
碧草自春色。隔葉黃鸝空好音。三顧頻繁
天下計。兩朝開濟老臣心。出師未勝身先
死。長使英雄淚滿襟。
- 39 桃塢梨園春一場。何邊出色留春陽。
校書縹墨搜來處。聞有花緜近者秀。
- 40 學識文章共不群。惜他閩弱宋朝君。北遼
兵馬入京日。咏竹吟篇空散雲。
- 41 厚重朴質果是丈夫。所守信義豈侮弱孤。
安藤謙助君教。
- 42 花萼樓頭共萼開。千人万人觀花來。
君王御座天中處。口成何人傍執拂。
- 43 賚富能訓。惟以永年。惟德惟義。時乃大

訓。

- 44 北方健士庄内容。數到江戸求友生。江戸豪客西肥士。每辱來訪身出迎。春風淡蕩報新正。日本橋南孤草亭。握手懷抱誰與開。鼎煮豪猶勸百觥。滿城風雨晦冥々。昨夜不寢聽鶴鳴。北地沝寒天下少。唯今千嶺雪崢嶸。更道子出床內日。君候賢明康且寧。我之床內記昔會。海艦突兀載萬兵。年云迈矣萬國治。二十六年刑政成。諸君嘗慕南洲翁。南洲意氣孰共爭。南洲一死事蒼茫。遺訓著作諸君誠。諸君高亮仁及義。節操奮迅修生平。勿謂旣嘗誤順逆。由初不信南洲兄。菅子忠言不入耳。豪爽子弟劍刃明。官軍敗績清川關。荒草滿地白骨橫。悔過懷德今爲貴。南洲還敬諸君清。思往鑒今感慨切。共話南洲淚濕纓。諸君於今常守雌。天下寵辱莫敢驚。相率共徂松岡下。親把鋤犁種稻秔。正知雪解冰澌日。膏沃萌動催春耕。

贈三矢藤太郎謌。癸巳一月。

- 45 神非守人。人實守神。
- 46 兩君軍略頗相當。人吊川中古戰場。尤惜不爲明治將。生擒亞歷獻吾皇。川中島懷古。
- 47 秋光如水冷天涯。吳斧何時芟桂華。鏡裡團圓雖未見。十三夜賞在菅家。九月十三夜□栗田君正。
- 48 春近梅華乍微笑 梅南。年窮詩客亦多忙春斂。誰知相因身猶病。不出戶庭歌泰昌蒼海。窮愁聯句。
- 49 秋風吹老髭毛斑。放浪江湖未欲還。若問前程措何路。武昌漢江九江間。
- 50 曾記我宗多俊賢。一時才學各聯翩。如今衰謝無人道。唯有先生獨對天。
- 51 五月南薰飄画旗。家々頌禱祝男兒。壯丁二十初服役。尚武風從孩稚時。五月五日家樹軍旗。頌男兒生至七歲者。以武運。蓋自往世云爾。種臣一孫亦與茲事。安得不賦。

- 52 冬想羨汗夏想水。新人盛飾床稜凭。寒忘絲綿炎忘繒。故人愁哭背面燈。西鳥已沒東蟾升。北風甚急南天激。老驥伏櫪志千里。却服塈車力不能。東蟾行。
- 53 宋澤李綱爲大图。爲悲爲義口晴明。未蒙大口爲期立。若畫本分手天下。平或武或文空望。德時慷慨各豪。堂旧謂家不自振。如許江人萬古鳴。
- 54 寄傲去是非。求學空昨非。聊欣樽有酒。不恨室無衣。丘壑世情遠。田園生事微。庭柯還獨廻。時又鳥歸飛。
- 55 秋風起兮白雲飛。艸木黃落兮雁南歸。蘭有秀兮菊有芳。思美人兮不能忘。泛樓船兮濟汾河。橫中流兮揚素波。鐘鼓鳴兮發棹歌。歛樂極兮哀情多。少壯幾時兮奈老何。
- 56 憶懷老方丈。斯際亦安禪。皓朗真如月。蒼茫寥廓天。百年身世在。萬代法衣傳。我欲謝纓紗。陪師筵几邊。奉懷。
- 高傳寺老方丈。
- 57 必得其位。必得其祿。必得其名。必得其壽。
- 明治十七年甲申。
- 58 清風隨友至。白日趁誠來。蘭畹種馨德。桂林移界材。天開望已達。襟豁意無猜。唯有二三子。称言傾酒杯。
- 59 西園公子名無忘。南國住人字莫愁。
- 60 衆人皆醉我獨醒。松岡君教。
- 61 已收摘將冬日戌。欲奪還婆雪外城。
- 62 書幅
- 63 書幅
- 64 金華松島奧東頭。自古風雲向北愁。日本中央碑字在。只今靺鞨入伺州。
- 65 山中何所有。嶺上多白雲。只應自怡悅。不堪持贈君。
- 66 三山半落青天外。二水中分白鷺洲。
- 67 議事堂。
- 68 保佑之吉。

- 69 神降百福。
- 70 閑日月。
- 71 七草園。
- 72 澄觀。
- 73 大吉堂。
- 74 獨立亭。
- 75 禮樂衣冠第。文章孔孟家。南山開壽域。
東海釀流霞。
右鄭成功詩也。乙酉冬日。
- 76 風塵敝盡旣時衣。為客天涯未得帰。
故國烟花消息斷。東都城邊雪霖微。
寄畔口有遍濟尋。
- 77 精神一到。
- 78 溫古知新。
- 79 帰雲飛雨。
- 80 龍池龍躍龍上飛。龍德先天天不衡。
- 81 興(芳)雲閣。
- 82 大禧。
- 83 飛龍在天。
- 84 曹溪。
- 85 膽大心小。
- 86 宏濟閣。
- 87 莊嚴金堂坐我輩。
- 88 之子干歸宜爾家人。
- 89 日廻皇子乃彌繼々耳。
皇孫殿下御降誕をことほぎまつるとて。
- 90 聖上益御機嫌克
可被為在恐懼至極
奉存上候
皇子御名付付
添
内
御意可伺之処少々
所勞有之不參仕候
此段宜敷御執
奏奉仰候也不備
- 91 仁義礼智
- 92 北條里在白烟浮。山木城空蒼翠愁。
未回江都坊裏去。猶循狩野水頭。
- 93 雨中鹿島候邸宴
雲之漫漫雨淒淒。是日又雨氣轉悽。
公子爾雅招客携。赤坂宮東芝海西。
高樓巍峩就可躋。自有疎天縹渺梯。
霧中樹色薄小齊。賓客遠帆愁相低。
左右侍者栢捲提。後厨供具嘉魚剗。
不羨上天日經奎。主上以是日幸北白川王
邸飲宴參議諸卿賞雨酒氣先壓脣。
梧竹道人將筆齊。意色昂昂吞虹霓。
乍驅雄風揚墨鱉。滿場但怪吹陰鶯。
徐覺昏暮鴉點啼。主上歸路莫是迷。
即使一士別命題。早菊晚楓竝粲兮。
- 94 皆様共むべをたべて三百年の寿をたもち
なされよ。
- 95 口達
私衷兄枝吉木之助病氣之末養生不相叶今
十四日相果申候 依之則日定式之忌日幽
引入用挨仕暮圓候 此段致御達候
- 96 有花有人故園春。是鹿島公佳句書呈。
- 97 萬寿無疆。
- 98 温泉副島種臣之所作也。種臣將返東京。
庄内伯兄弟。率其邑之名德耆舊數十人。
邀種臣於田川溫泉。故作此詩也。
溫泉沸々。灑山之隈。將游將蕩。去此垢
汚。且逍且遙。與子共娛。
溫泉冽冽。滿潤之阿。將剔將逐。去此病
癒。且笑且歌。與子共歌。
心之憂矣。吾駕將旋。一別千里。會面何
年。知爲好德。何復潛焉。右明治二
十八年秋月晚書之。
菅先生之正。
- 99 書翰
- 100 拜啓者時下寒冷ニ相成候處、忠篤様御始
め菅先生其外御同社中皆々御無異、兩兄
にも彌御健強と先い不堪大悅。然處忠實
様永々御大病之由、近來如何。御究體被
為在候哉。實ハ御機嫌伺之爲め參上をも
可仕之處、因循而已にて于今其義不相果
貴意奉恐入候。老子頑健、此義ハ御安心

奉仰候。

黒谷生ハ不相易勉強、精神も穏和ニ有之、
毫も油断無之様相見ヘ候ニ付、大隈中學
校へ寄宿相勧め昼夜學理研究相成候。此
段ハ及通知候。右用事迄草々申入候。皆
様へ兩君 ち(より) 宜敷御鶴聲可被下候。
不宣

三矢・富田兩君子座下

101・102 書翰

103 蒼海先生詩稿

104 禹域游筆

105 蒼海印章 (21個)

(梧 竹)

1 大聖文殊菩薩。

2 文政丁亥。惟レ我生ル (焉)。今歳癸卯。七十七年。一タビ華 (岳) 泰 (山)ニ攀シ。再ビ古燕 (北京)ニ入ル。玉碎ヲ恥ゾト雖モ。猶ホ瓦全ヲ喜ブ。心ヲ物外ニ遊バセ。神ヲ象先 (万物生ズル以前)ニ棲マス。朴ヲ抱キヲ守リ。精ヲ固クシ氣ヲ專ラニス。無墨ノ筆。無仏ノ禪。風月ニ吟嘯シ。雲烟ニ笑傲ス。彼ノ大化 (造物主ノ大運)ニ乘シ。彼ノ自然 (天命)ヲ樂シム。自寿

3 西晋分書有太公望任城大守孫夫人二碑峻逸殊科而曲折頓宕姿致天成

4 飛止机頭字：欣 端溪踏破墨痕雲 人間造字無生气 烏跡詳觀天理文 甲午歲十一月二十日冬暖如春閑南窓展紙揮毫數紙鳩飛來手机上不去如相狎捕籠焉養

5 惟般仲宋作其盤其萬年眉壽無疆子々孫々永寶用之 般仲盤銘 惟般仲宋作其盤其萬年眉壽無疆子々孫々永寶用之

6 冊父乙 銘冊父乙

寶自作簠其子々孫々永寶用 寶簠銘 寶自作簠其子々孫々永寶用

殷作冊商作錫東大巳寶 父 大巳 蓋銘

殷作冊商作錫東大巳寶 父

命魚 魚鱅銘命魚

父舟兄丁尊彝 父舟單銘父舟作兄丁尊彝
魯公作文王尊彝 文王鼎銘 魯公作文王
尊彝

遺叔作旅鼎用 遺叔彝銘 遺叔作旅鼎用
大師小師望作子々孫々永寶用之 大師鼎
銘 大師小師望作子々孫々永寶用之 梧
竹臨

7 陽城縣開母廟興治神道闕時大守朱寵丞零
陵泉陵薛政五官掾陰林戶曹史夏効監掾陳
脩長西河閻陽馮寶丞漢陽冀祕俊延趙穆
漢開母廟石闕銘

8 いろはにはへとちりぬるをわかよたれそ
つねならむうるのおくやまけふこえてあ
さきゆめみしきひもせす

9 永平六年漢中郡以詔書受廣漢蜀郡巴郡徒
二千六百九十人開通褒斜道大守鉅鹿鄧君
部掾治級王弘史苟茂張宇韓岑興功作大守
丞廣漢楊頤將相 節臨永平開通褒斜道石
刻

10 雪溜添春浦 花水足新流
桃澗武陵岸 柳弘武昌樓

11 凝寒迫清祀 有酒宴嘉平
宿心何所道 翳此慰中情

12 数杯還已醉 風雲不得知
唯有龍吟篴 桓伊能獨吹

13 雪山不讀書 大道至心現
昨夜會文珠 文殊猶閱卷

14 大矣牟尼道 無辺跡可追
明星雪山晚 見性悟空時

15 白鶯入蘆花

16 虛堂日永

17 薰風自南

18 久遠也如後嗣成 功盛德臣去疾憊
秦之罘石刻殘字

19 欲得安心處 寒山可長保
微風吹幽松 近聽聲愈好

- 門有斑白人 嘴：讚黃老
十年歸不得 忘却來時道
- 20 一室太和真富貴
21 橋中樂盡裏春
22 計與足下別廿六年於今雖時書問不解濶懷
省足下先後二書但增歎慨頃積雪凝寒五十年中無想頃如常冀來夏秋間或復得足下問耳比者悠々如何可言
吾服食久猶為劣々大都比之年時為復可々
足下
- 23 惟漢永二年八月敦煌大守雲中裴岑將郡
兵三千人誅呼衍王等斬馘部衆克敵全師除
西域之疫獮四郡之害邊境乂安振威到此立
德祠以表萬世
漢敦煌大守裴岑紀功碑：高今尺四寸二寸
廣八寸五分六行：十字今在巴里坤關帝廟
此碑在篆隸之未有挑法者丁未六月臨於天
福閣
- 24 楊君厥諱准字伯邵學孝廉尚書侍郎上蔡淮
陽令將軍長史任城金城河東山陽大守御史
中丞三為尚書司隸校尉將作大匠河南尹伯
邵從弟諱孺字穎伯學孝廉西鄂長伯母去官
復學孝廉尚書侍郎遷左丞異州刺史大醫令
下邵相兄弟功德卓盛常究三事大司隸孟文
之元孫也漢楊准表紀
- 25 君昔在匱池脩嶠巒之道德治精通致黃龍白
鹿之瑞故圖畫其像
- 26 大歲在甲戌初平五年吳師作宜子孫
27 惟正月吉日乙丑拍作朕配平姬享宮祀 惟
正月吉日乙拍丑顛倒作朕配平姬享宮祀丁
未六月造於天福閣
- 28 汾陰候
29 洞房昨夜春風起 遙懷美人湘江水
枕上片時春夢中 行盡江南數千里
- 30 雨逕綠蕪合 霜園紅葉多
蕭條司馬宅 門巷無人過
唯對大江水 秋風朝夕波
- 31 自樂平生道 煙蘿石洞間
野情多放曠 長伴白雲閑
- 有路不通世 無心孰可攀
石牀孤夜坐 圓月上寒山
- 32 天照皇太神
33 正一位稻荷太明神
34 春色滿皇都
35 天上天下唯我獨尊
36 蒲酒話升平
37 近水簾櫳探借秋
38 南無阿彌陀佛
39 明月流素光
40 菊花令人壽
41 聖壽無窮
42 放香冬至梅
43 雪擁柴門冰滿池
44 朱處仁今所在往得其書信遂不取答今因足
下答其書可必達
45 省飛白乃致佳造次尋之乃欲窮本無論小進
也稱此將青於藍
46 日滿縣前春市合。
湖平浦口暮帆多。
47 三日不讀書言語無味
48 山中留客半牀雲
49 松菊依然欣自適。
榮譽無忘好相隨。
50 寿。
51 已過江南去。壹飄風順挂。
杭江積雨餘。山色青於畫。
52 天降福。
53 垂楊傍岸綠如春。
風景依依畫不真。
舟在水雲濃淡裏。
載秋雨天津。
54 萬里長城萬里山。行人終日白雲間。
塞笳聲絕昇平世。不鎖居庸第一關。
55 殘中車馬自喧嘩。江上清風未有涯。
欲遂平生瀟洒志。數椽茅屋傍漁家。
樓閣參差霞綺開。峰巒重複水縈廻。
赤欄橋外垂楊下。步月吹笙鶴比平。
56 景初元年五月日中尚方口長壹丈鱗六

- 尺澤□□坐帳上。邊構銅重二斤十兩。
 57 萬年鈞平。
- 58 龍章。自然。
- 59 茶香秋夢後。松韵晚吟時。
- 60 來日春光盛。轉蓬未得帰。
 窓前井梧葉。一片報秋飛。
- 61 水抱孤村遠。山通一遙斜。
 不知深樹裏。還住幾人家。
- 62 水漏枕々滴。小窓捲碧紗。
 曇々春曉白。微雨不妨花。
- 63 落日天地遠。飛鴻與雲俱。
 悠々思故鄉。杳在天南隅。
- 64 春暖杏花多。尋芳隊逐過。
 綠樹鋪地轉。黃鳥近人歌。
 南岡遠水通。來往酒旗風。
 依約岳楊外。殘霞一抹紅。
- 65 懶搖白羽扇體青林中。
 脫巾挂（掛）石壁。
 露頂瀧松風。
- 66 二頃有田園。經營艸里邨。
 春秋家廟祭。亦是旧君恩。
- 67 略
- 68 典作父寶彝。孫白作奔財。
- 69 南無觀世音菩薩。
- 70 主忠信。
- 71 布金精舍。
- 72 鶴鹿山。
- 73 勝画亭。
- 74 賦天福。
- 75 潭月。
- 76 天爵有餘。
- 77 出幽谷。
- 78 聖代文明。
- 79 大吉羊。
- 80 高蹈以授天位。
- 81 物始。
- 82 金剛輪堂。
- 83 指揮如意天華落。坐臥閑房春草深。
 日華先照連花上。雲氣常從仙掌來。
- 百年富貴真槐國。一日消閑勝葛天。
- 84 周秦古器銘皆科斗文字。其文章爾雅。
 朝夕玩之。所可披剝。華偽自見至情。
 雖戲弄翰墨。不為無補。
- 85 白衣鷺。
- 86 窯作寶尊。
- 87 仙人 杏花 滿樹 處士 楊柳 當門
- 88 己見寒梅發 復聞啼鳥聲
 愁心視春草 懿向王階生。
 空山不見人 但聞人語響。
 返景入深林 復照春苔上
 獨坐幽篁裏 漣琴復長嘯
 深林人不知 明月來相照
 遊人五陵去 寶劍直千金
 分手脫相贈 平生一片心
 春眠不覺曉 處處聞啼鳥
 夜來風雨聲 花落知多少
- 89 吾有七兒一女。皆同生。婚娶以畢。
 唯一小者。尚未婚耳。過此一婚。
 便得至彼。今內外孫有十六人。
 足慰目前。足下情至委曲。
 故具示。朱處仁今所在。
 往得其書。信遂不取答。
 今因足下答其書可令必達。
 映門淮水綠。留騎主人心。
 明月隨良輅。春潮夜夜深。
- 90 十七日先書。都司馬未去。即日得足下書。
 爲慰。先書以具示。復數字。
 吾前東。粗足作佳觀。吾為逸民之懷久矣。
 足下何以方復及此。似夢中語耶。無緣言。
 面為歎。書何能悉。
 龍保等平安也。謝之。甚遲見卿。舅可耳。
 至為簡隔也。
 今往絲布單衣財一端。示致意。
 計與足下別。廿六年於今。雖時書問。不解懶懷。省足下先後二書。但增歎慨。頃積雪凝寒。五十年中所無。想頃如常。冀來夏秋間。或復得足下問耳。比者悠悠。
 如何可言。

吾服食久。猶爲劣劣。大都比之年時。爲復可可。足下保愛爲上。臨書但有憫恨。知足下行至吳。念違離不可居。叔當西耶。遙知問。

瞻近無緣省苦。但有悲歎。足下小大悉平安也。云卿當來居此。

喜遲不可言。想必果言苦有期耳。亦度卿當不居京。此既避。又節氣佳。是以欣卿來也。此信旨還。具示問。

天鼠膏治耳。有驗不。有驗者乃是要藥。朱處仁今所在。往得其書信遂不取答。今因足下答其書。可令必達。

足下今年政七十耶。知體氣常佳。此大慶也。想復懇加頤養。吾年垂耳順。推之入理。

91 事君忠 踔民惠。

92 掃机清風作筴。開窓明月為燈。

93 鳳向池中躍起。龍從天外飛來。

94 富昌界宣土。黃山第四。

95 天鼠膏治耳聾有驗不。有驗者乃是要藥。

96 忠孝安家國詩書教子孫。

種花春掃雪讀史夜焚香。

修身宜切已處世勿驕人。

祥光環玉樹瑞色遶金欄。

禮樂衣冠第詩書文物家。

種德培麟此傳經起鳳毛。

閑臨王氏帖醉讀少陵詩。

山水含芳意風雲入壯懷。

家聲耕與讀事業孝知忠。

明月千門雪銀燈萬樹花。

世泰心常泰春臨福亦臨。

器以虛能受入惟恕可行。

97 手把黃庭一卷。坐消滿榻清風。

清情畫意月夜。花闌口社雪晨。

98 金烏昇。

99~100 帖

101 書翰

102 恬筆以前。

103 今薄暮 槍網而 得魚 状如 巨口細鱗 松江 鱷 古川君 七月十 三日日暮 携 鱷魚 来 而書 古語謝

104 二日大雪

紛、舞雪灑天風 竹沒松埋一色同

無邊琉璃光佛國 山河大地悉玲瓏

二日夜即事

奇觀銀世界 四顧夜幽清

大道無車馬 街燈雪裏明

御返事 無事

御手紙拝見致し候 ○昨日は竹内へ御依頼の幅出來致し候を持參箱書キ致し候

緩々獨酌にて同人帰り候後へ 御手紙落

手致候 ○恬筆以前ト認メ差上候 吳吟軒へ申越し製し候 筆毛上海ニ 無之よ

しにて 湖南に申し遣し候由にて 漸く出来候 筆毛誠ニ世上ニ無之ものにて候

千年以上の製作ヲ致サセ候 短鋒にて 大字ハ宜し 恬ハ秦人にて其の以前の製

作品の姿ナリ

御返事迄申上候

六月三日午前書く

○紙も上海より取り寄せ候

105 書翰

106 寿。

107 丹陽郭裏送行舟 一別心知兩地秋

日晚江南望江北 寒鶲飛盡水悠悠

108 桐竹の図。

109 風竹の図。

110 朱竹の図。

111 月夜竹の図。

112 雪竹の図。

113 桐の図。

114 竹の図

115 虹の図。

116 莖の図。

117 竹の図。

118 池の月図。

119 月宮殿裏桂花香。

120 梧竹道人揮筆之図

日本名士梧竹先生書法古厚而篆勢分音
草情畢具。潘存抨窺山中何所有。嶺上多
白雲。只可自怡悅。

不堪持寄君。梧竹

日本字風將以梧竹先生為開山之祖。余昔
携碑本東渡。得足下臨之以廣其伝。亦與
有榮施焉。清國光緒七年辛巳九月。余嘗

121 鎮國之山。

122 金谷堂之古跡。

123 護國統宗。

124 八天狗神御廣前。

125 正一位烏森稻荷大明神。

126 梧竹村莊記

127 御賜御香爐記

128 孝經写し

129 手控帖

130 砚（三個）墨（三個）

131 筆（六本）

132 衡立・文鎮・筆洗い

133 觀音像

134 杖

135 花瓶

136 手籠

137 梧竹印章（36個）

(8)ジェームズ・アンソール展

主 催 ベルギー文化省、日本美術館企画協議会、佐賀県、
佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館、佐賀市、佐賀
市教育委員会、西日本新聞社

後 援 外務省、文化庁、ベルギー大使館、佐賀県農協中央
会、佐賀商工会議所、佐賀県商工会連合会、佐賀県
婦人連絡協議会、日本国有鉄道九州総局、サガテレ
ビ、西日本鉄道、昭和自動車、祐徳自動車、西肥自
動車

会 場 大展示室

会 期 昭和47年11月14日～12月3日

観覧料 個人 一般 350円 大・高生 250円 中・小生 150円

団体（団体は20名以上） 一般 300円 大・高生 200円 中・小生 100円

展示概況

ジェームズ・アンソールは1860年ベルギーのオーステンドに生まれた異色の画家で、今日、フォブ
イズム、表現主義、シュールレアリスムといった現代美術の諸傾向の最も先駆的な開拓者として認め
られている。

今回展覧された作品は、有名な「仮面たちにかこまれた自画像」をはじめ油彩38点水彩、デッサン
27点、版画80点からなり、その生命感あふれる輝く色調、あるいは強度のデフォルメ、画面の幻想性
など、いづれもアンソールの独自の絵画藝術を明らかにしてくれた。

なお、当展開場式にはベルギー大阪総領事、アントワープ王立美術館美術部長が、会期中にはアン
トワープ王立美術館館長夫妻が来館され、また九州では当館が唯一の会場であったため県内外を問わ
ず多数の観覧者があった。



出 品 目 錄

作 品 名	製作年	寸法cm	材 質
1 鼻がそりかえっている女	1879	54×45	麻布
2 嵐のあと	1880	52.5×62.5	麻布
3 ブルジョワのサロン	1881	133× 109	麻布
4 フランドル街の軍楽隊	1881	24×19	板
5 オーステンドの午後	1881	108× 133	麻布
6 緑衣の女	1881	68.5×58.5	麻布
7 キャベツと野菜	1881	67.5×79.5	麻布
8 牡蠣をたべている女	1882	207× 150	麻布
9 不面目な仮面	1883	135× 112	麻布
10 花飾りをつけた帽子をかぶっている自面像	1883	75×61.5	麻布
11 オーステンドの屋根	1884	155× 210	麻布

12 海	1885	112×160	麻布
13 化粧室の少女	1886	135×110	麻布
14 雷にうたれ墜落する反逆の天使	1888	108×132	麻布
15 仮面劇	1889	59×72	麻布
16 陰謀	1890	90×150	麻布
17 仮面、ワウスの驚き	1890	109×131	麻布
18 画架に向かっているアンソール	1890	59.5×41	麻布
19 ルマン将軍と絵画論をたたかわすアンソール	1890	12×18	パネル
20 エビやカニを眺める仮面	1891	31×39	板
21 首をくくられた男の死体を奪いあう骸骨たち	1891	59×74	麻布
22 支那陶器のある静物	1891	79×98	麻布
23 悲嘆にくれる男	1891	21.5×16	麻布
24 嵐を鎮めるキリスト	1891	80×100	麻布
25 恋兵たち	1892	45×55	パネル
26 われらの慰めなる聖母マリア	1892	48×38	板
27 鰐(えい)	1892	80×100	麻布
28 花と野菜	1896	79×98	麻布
29 花と支那の花瓶	1896	100×80	麻布
30 花、果物、仮面	1896	65×55	麻布
31 仮面と死神	1897	79×100	麻布
32 仮面たちにかこまれた自画像	1899	120×80	麻布
33 骨董屋	1902	85.5×42.5	麻布
34 麦藁帽子をかぶった女	1909	40×31	板
35 母の死顔	1915	74×54	麻布
36 異様な舞踏会	1918	80×100	麻布
37 グロテスクな喫煙者	1920	75×65	麻布
38 悪名高い解剖者、あるいは皮はぎ男	1925	63×80	麻布
39 貝殻	1931	50.5×60	麻布
40 庭の子供	不詳	11×4.5	板

版 画

41 自画像	1886	10.1×7	銅版、エッチング
42 辱しめをうけるキリスト	1886	24×16	亜鉛版、エッチング
43 果樹園	1886	16.1×24	エッチング
44 嵐を鎮めるキリスト	1886	16.2×24	亜鉛版、ドライポイント
45 ダリウスの便器を験べるイストンとプファマトウス	1886	24.7×19.1	1亜鉛版、エッチング
46 大伽藍	1886	25×19	亜鉛版、エッティング

47 地獄の行列	1887	22×27	着彩エッティング、 亜鉛版
48 エルネスト・ルッソーの肖像	1887	24.1×18.1	ドライポイント
49 マリアケルク（教会）の遠望	1887	20.8×25.9	亜鉛版、エッティング
50 防波堤	1887	8.9×12.9	ドライポイント
51 ブリュッセルのポン・スクール街	1887	13× 8.9	亜鉛版、エッティング とドライポイント
52 貧乏人デジルとリソルの争い	1888	23.7×28.9	ドライポイント
53 ブリュッセルのアンスパフラン大通	1888	13.8× 8.9	ドライポイント
54 街灯	1888	10× 7.1	エッティング
55 幽靈の現れる家具	1888	13.9× 9.1	エッティングとドライ ポイント
56 天使や大天使たちを打ちすえる悪魔たち	1888	25.1×29.3	エッティング
57 一本マストの帆船	1888	17.8×23.7	亜鉛版、エッティング ドライポイント
58 幻想的な音楽家たち	1888	18×24	亜鉛版、エッティング
59 樹々のむらがり	1888	10×13.9	銅版、エッティング
60 東オーステンドの眺望	1888	9×13.9	エッティングとドライ ポイント
61 オーステンド港の眺望	1888	8×11.9	銅版、エッティング
62 間討ち	1888	17.8×23.8	亜鉛版、エッティング
63 ノアの洪水	1888	17.8×23.8	亜鉛版、エッティング
64 1960年のわたしの肖像	1888	7×11.9	銅版、エッティング
65 見知らぬ町の占領	1888	17.9×24	銅版、エッティング
66 ニューポールトの眺め	1888	8×13.7	銅版、エッティング
67 アウドナールドの市庁	1888	15.9×11.8	銅版、エッティング
68 フルーネンダールの森	1888	11.8× 8	ドライポイント
69 カエザルのほどこし	1888	13.9×17.9	エッティングとドライ ポイント
70 愛の園	1888	11.6× 8	着彩エッティング
71 キリストの誘惑	1888	8×12	銅版、エッティング
72 羊飼の礼拝	1888	16×11.8	銅版、エッティング
73 皮をはがれた男	1888	13.8× 9.9	銅版、エッティングと ドライポイント
74 憲兵たち	1888	17.9×23.8	エッティングとドライ ポイント
75 疾風にのる魔女	1888	17.9×23.8	亜鉛版、エッティング
76 難破船	1888	17.9×23.7	亜鉛版、エッティング
77 フルーネンダールの小径	1888	13.8× 9.8	銅版、エッティング
78 淫蕩	1888	9.9×13.8	銅版、着彩エッティン グとドライポイント

79 森に吹きつける疾風	1888	17.9×24.5	亜鉛版、エッチング
80 オーステンドの船渠（ドック）	1888	17.9×23.6	亜鉛版、エッチング とドライポイント
81 オーステンドの森のはずれ	1888	8×11.8	亜鉛版、エッチング
82 幽霊	1889	8×12	銅版、エッチング
83 風車小屋の前の村祭り	1889	13.2×17.3	エッチング
84 森のなかの橋	1889	10×14	銅版、エッチング
85 ポプラのある池	1889	16×23.9	エッチングとドライ ポイント
86 異様な舞踏会	1889	7.9×12	エッチング
87 田舎の橋	1889	11.8×15.7	エッチング
88 天使、諸人をうちこらす	1889	11.8×15.7	エッチング
89 骸骨としての自画像	1889	12.1×8.1	エッチングとドライ ポイント
90 オーステンドのイゼゲム大通	1889	13.9×10	エッチングとドライ ポイント
91 氷滑りをする人たち	1889	18×24	エッチング
92 蒸汽船	1889	8×11.9	エッティングとドライ ポイントアクアチント
93 ローマの凱旋式	1889	12.1×8	銅版、エッティングと ドライポイント
94 フランドル街の軍楽隊	1890	12.1×8	銅版、エッティングと ドライポイント
95 スレーケンスの風車	1891	7.1×10.2	銅版、エッティング
96 キリスト、魚をふやし給う	1891	18×23.8	銅版、エッティング
97 公園の集い	1891	9×13.7	エッティング
98 異端者の火刑	1893	8.5×12.2	銅版、着彩エッティング
99 良き裁判官	1894	17.9×23.9	亜鉛版、エッティング
100 渔船	1894	9×14.2	亜鉛版、エッティング
101 悪魔ジエッチとイアノックス、キリストを地獄に導く	1895	13.9×17.8	エッティングとドライ ポイント
102 私を責めさいなむ悪魔ども	1895	11.8×15.8	銅版、エッティング
103 賭博者	1895	11.8×15.9	エッティング
104 悪魔に悩まされるキリスト	1895	17.9×24.2	エッティングとドライ ポイント
105 騎士の戦い	1895	24.1×28	エッティング
106 悪しき医者	1895	17.8×25.3	着彩エッティング
107 不面目な仮面	1895	11.9×8.3	銅版、エッティング
108 キリストと乞食	1895	9.3×14.2	銅版、エッティング
109 キリスト、地獄に降り給う	1895	9×14.3	エッティング
110 死、諸人をおそう	1896	24.1×18.2	エッティング
111 さらば、ナポレオン	1897	12.2×18.9	エッティングとドライ ポイント

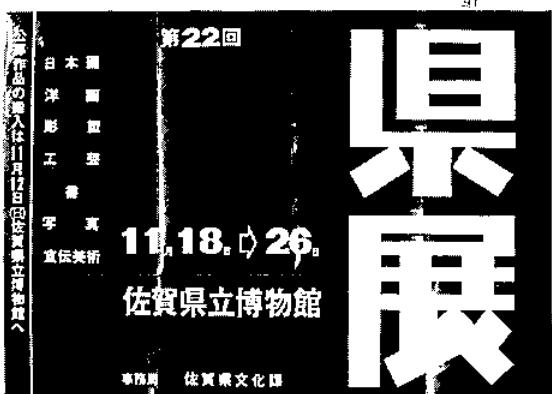
112 ホップ=フロッグの復讐	1898	24.9×25.8	エッチングとドライ ポイント
113 キリスト、ブリュッセル市に入る	1898	24.9×25.8	エッチングとドライ ポイント
114 ホップ=フロッグの復讐	1898	37.7×27.7	石版
115 オーステンドの海水浴	1899	22.4×27.9	着彩エッチングとド ライポイント
116 王妃パリサティス	1900	17×12	エッチング
117 惰惰	1902	10×14	着彩エッチングとド ライポイント
118 オーステンドの屋根	1903	10×14.9	銅版、エッチングと ドライポイント
119 上も、下も、いたるところがベスト	1904	19.7×29.8	着彩エッチング
120 羨望	1904	9.8×15	着彩エッチング

水彩・デッサン

121 人物のいるデッサン	1880	25.5×33	水彩
122 ランプ	1881	21.5×16	鉛筆、素描
123 自画像	1884	7.3×5.5	素描
124 日傘	1885	22.5×17	鉛筆、素描
125 寺院から商人を追い出すキリスト	1886	23×17.5	鉛筆、素描
126 瀕死のキリスト	1886	6.1×7.6	素描
127 キリストを地獄に導く悪魔たち	1886	17.3×22.6	素描
128 フルーニングの戦いに出陣するまえ、祖国を守る フランドルの戦士	1890	13×19.5	鉛筆、素描
129 騎士の戦い	1891	37.5×45.5	素描
130 本を読む母	1899	22.5×27.5	鉛筆、素描
131 玉突きに興ずる骸骨たち	1903	30×34	着彩インキ、素描
132 小品5点連作：玉突きに興ずる人たち	1903	23.5×30	着彩、素描
133 キモノを着た若い女と骸骨	1909	23.5×17	色コンテ
134 亡き父の肖像	不詳	22.2×17	鉛筆、素描
135 母と妹のエスキース	不詳	22.2×17	鉛筆、素描
136 身体をあだためる病める放浪者	不詳	21×16	鉛筆、素描
137 総（ふさ）と装飾ランプ	不詳	22.5×17.3	鉛筆、素描
138 はなサフラン	不詳	12.5×17	鉛筆、素描
139 暖炉の上の時計	不詳	22.3×17.2	鉛筆、素描
140 エッチングによる慰め	不詳	21×17	鉛筆、素描
141 眠っている母	不詳	22×28	鉛筆、素描
142 自画像	不詳	22.5×29	鉛筆、素描
143 病める母	不詳	17×24	着彩、素描
144 ドン・キホーテ	不詳	15×17	素描

(9). 第22回佐賀県美術展

主 催 佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館
 会 期 昭和47年11月18日～11月26日
 会 場 1階ロビー、1・2・3・号展示室
 觀覧料 個人
 大人 100円 大・高生50円 中・小
 生30円
 団体
 大人80円 大・高生30円 中・小生
 20円 (団体は20名以上)



展示概況

県内在住者を対象に、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、宣伝美術の7部門にわたりて一般公募して審査を行い、入選作に、依頼作品および審査員の作品を加えて展覧し、本県美術の発展向上に資するものである。出品総点数 334点。

主 な 出 品 目 錄

◎日本画

蓮		池	中野 澄子
鳩		円城寺	悦子
峰		中山	熟
夢	みる	木塚	順子
花	市	副島	鉄三郎
赤	い	田中	小枝
曳		古山	正
ギ	リシャの	金川	篠
暖	詩	子	剛
	冬	岩永	吉

◎洋 画

作	品	A	久光	須那雄		
成	長	計画	M.	4	光武	洋
列			山田	比古太		
阿	蘇	外輪山	田中	一利		
		エメラルドグリーンの壁の				
		室内	佐伯	勝己		
け	むり	・落日	下平	武敏		
秋	盛り	B	真崎	造		
朝			古賀	夫嗣		
女			上瀧	泰		
	G N P	世界第二位	佐伯	勝己		

ぼ	ろ	屋	(2)	岡	本	留	男
唱			II	井	筒	明	
面	(おもて)		B	川	本	達	也
ぶらさがったにわとり				杉	本	弘	子
スクラップのある風景(A)				久	保	忠	武
求める(1)				野	口	孝	行
枯れかかるはす				江	富	進	徳
山村早春(春日)				納	本	好	進
冬の鳩				杉	動	健	守
水田のある風景				兵	池	義	吾
中川公園の木				菊	山	泰	泰
中家公族				吉	田	勝	勝
鍋島段通と兜				井	手	進	一
M A R O C				深	川	誠	次
持国天(觀世音寺)				江	口	善	明
曇り日の西唐津港				横	尾	邦	靖
女家湖畔				久	富	彦	夫
春蔵野				山	口	視	彦
武花長				櫛	崎	雄	雄
				筒	井		
				宮	地		

◎影　塑

回信	子さ	のが	帰首	等一	惠三	中崎	田山	等一	萬胡	藍万	葉乱	東雨	東雨	中浦	中浦	う	の	た	伊福	東島	小富
昼奏	者品	(I)	りち	男之	清一	藤巻	武服	朝宏	秋飲	胡蘇	の	指坡	八仙	夜仙	湧瀧	湧瀧	指の	野徳	山口	正万	
作肖			像思	一誠	舟成	富手	卷舟	宏郎	杜陶	秋飲	の	夜の	二仙	明舞	舞	の夜	池高	中永	浩正		
秋ウ	ズル	ベク	女ズ	敏民	井緒	手方	成井	雄二彦	蒼唐	杜陶	の	仙詩	天詩	懷穎	詩首	の	横古	尾田	利喜		
或跳	る	の	ズぶ	快	山中	本島	緒山	彦	和和	蒼唐	の	詩明	天舞	穎詩	詩首	鍵辻	賀山	賀山	代欽		

◎工　芸

灰青	白	磁	釉	鉢	鉢	添	田	和	万正	和	万正	田	枕	王康	月有	波貴
砂	黑	釉	流し文	壺	鉢	井丸	上田	章	良玲	美次	次明	川丸	（ひび）子	昌庚	（ね）る	富政
白	磁	磁	深	鉢	鉢	奥	奥	玲泰	玲泰	明子	明子	井堀	唱笙	望昌	月有	正万
潮	騷	（深鉢）	（深鉢）	（深鉢）	（深鉢）	藤内	内前	敏	敏	子	子	田副	（ひび）和蹄	（ひび）有	（ひび）有	（ひび）人
ど	火	（深鉢）	く	（深鉢）	（深鉢）	前川	前川	珀	珀谷	男	男	野	笠	（ひび）和蹄	（ひび）有	（ひび）義健
蒼	珊瑚	白	磁	亀甲	草口	紅礁	小宮	金江	小宮	認	認	勝	田	王	昌	茂一夫
青	白	深	和	甲	口	壺	金	江縣	崎	美	美	口	（ひび）康	（ひび）有	（ひび）正	次郎
深	和	和	玄	取	紅	林	江	県	子	有	有	勝	（ひび）和蹄	（ひび）有	（ひび）功	義一
和	玄	玄	釉	裏	花	鉢	金	奧	川忠	右衛門	右衛門	（ひび）和蹄	（ひび）和蹄	（ひび）有	（ひび）正	次郎
色	色	色	色	島蘭	絵額	室皿	江	今	右衛門	善詔	善詔	大丸	太郎	田	（ひび）成	（ひび）成
連	連	連	連	草花	絞紋	皿鉢	县	今	泉今	詔	詔	辰	右衛門	（ひび）成	（ひび）功	（ひび）成
濁	濁	濁	濁	「豊	豊	」壺	奥	今	右衛門	詔	詔	中里	太郎	（ひび）成	（ひび）正	（ひび）成
然	然	然	然	」	」	象壺	今	青木	青木	詔	詔	里	右衛門	（ひび）成	（ひび）功	（ひび）成
叩	叩	叩	叩	ジゅ	絞	壺	木	酒井	酒井	詔	詔	中	中里	田	（ひび）正	（ひび）正
斑	斑	斑	斑	す	絞	指文	松	田柿	田柿	詔	詔	里	太郎	（ひび）成	（ひび）正	（ひび）正
更	更	更	更	紗	物	松	鈴	右衛門	右衛門	詔	詔	無	右衛門	（ひび）成	（ひび）正	（ひび）正

◎書

波貴	富政	人陽	富正	正万佐	浩正	利嘉	正利	嘉代	鍵辻	高土	山平	野山	德池	尾田	肥口	肥口	城園
小	東島	東島	東島	口	伊福	伊福	山口	中永	高横	高土	平野	野徳	山尾田	賀山	川肥	川肥	嶽水
富政	正万佐	中永	古鍵辻	山賀山	井田	井田	高横	賀山	口川	口川	水山						
人陽	人陽	人陽	人陽	人陽	人陽	人陽	人陽	尾田	辻	賀山	肥	肥	高横	尾田	肥	肥	城園
富政	正万佐	賀山	高	古	山	井	井	高	肥	肥	嶽水						
人陽	正万佐	尾田	横	最	野	田	田	横	肥	肥	水山						
富政	正万佐	賀山	古	土	肥	田	田	古	田	田	城園						
人陽	正万佐	尾田	最	土	肥	田	田	最	田	田	嶽水						
富政	正万佐	賀山	土	藤窪	田	田	田	土	田	田	嶽水						
人陽	正万佐	尾田	藤窪	宮音	田	田	田	藤窪	田	田	城園						
富政	正万佐	賀山	宮音	森	田	田	田	宮音	田	田	城園						

◎写　真

窟	旧	洞	樂屋裏	の	おんなたち	友	藤	人
漢	漢	漢	のんたち	と	らわす	II	武	義
羅	羅	羅	たうわす	う	う	双	宮	健
怒	怒	怒	う	う	う	影	安	泰
哀	哀	哀	う	う	う	幻	中	良
愁	愁	愁	う	う	う	と	百	正
哀	哀	哀	う	う	う	灯	増	憲
見	見	見	う	う	う	見え	久	光
見	見	見	う	う	う	ええ	馬	榮
見	見	見	う	う	う	(さ)が	古	公
性	性	性	う	う	う	保存すべき	最	昌
保	保	保	う	う	う	日本の民家	土	正
埋	埋	埋	う	う	う	色景	藤窪	功
立	立	立	う	う	う	景	宮音	三
地	地	地	う	う	う	エ丘	森	成
暮	暮	暮	う	う	う			永
色	色	色	う	う	う			
景	景	景	う	う	う			
景	景	景	う	う	う			
景	景	景	う	う	う			
景	景	景	う	う	う			
エ	エ	エ	う	う	う			
丘	丘	丘	う	う	う			

◎宣伝美術

鹿 島 城 赤 門
青 色 の 花 下 川 みち代

観光ポスター 八俣浮立 久 保 博 邦

書籍ポスター 「ブーチャン来航」 池 田 勝 利

書籍 ポ ス タ ー (1) 木 寺 義 德
タ (2) 草 場 哲 郎
山 口 順 子
前 田 由 美 子

書籍 ポ ス タ ー (2) 青 木 清 高
江 西 原 茂 利
村 素 枝 子

ばくらの壁新聞展
ポスター(1) 滝 口 利 文
タ (2) 草 場 龍 介
平 井 三 和 子
蒲 地 ま ゆ み

ポスター野生の暗示
タ (No.1) (No.2) 田 中 武 男

貯蓄ポスター
「小さなお金大切に」 藤 瀬 尊 幸

市民ケーン (No.1)
タ (No.2) 山 口 靖 信

公告ポスター
残留農薬不安(1)
タ (2) 宮 原 栄 作

人間キャンペーン
今全てに調和を!! (手)
タ (足) 長谷川 誠 次

自然と人間との調和
~環境汚染、 中 村 公 久

チ ャ ー ム ポ イ ン ト 藤 重 信

自分の幸せのために貯よう 西 島 伊三雄

(10) 学制発布 100年記念・教育資料展

主 催 佐賀県立博物館
 会 期 昭和47年12月2日～昭和48年1月18日
 会 場 1号・2号・3号展示室
 觀覧料 個人
 大人50円 大・高生30円 中・小生20円
 団体(団体は20名以上)
 大人30円 大・高生20円 中・小生10円



展示概況

明治5年の学制発布から100年を迎えた記念事業として、佐賀県の教育の歴史を主題とした「教育資料展」を開催した。

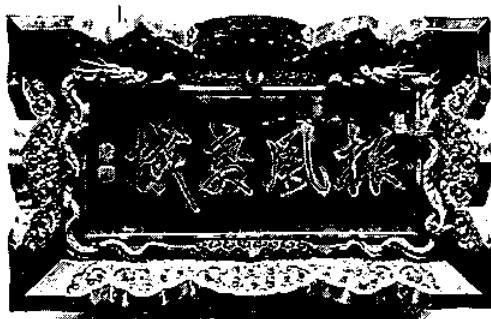
展示資料は第1部門の「佐賀県教育の歩み」では、藩政時代の教育資料から昭和22年の新教育制度の発足に至るまでの資料286品目535点をとりあげた。第2部門の「学校教育100年の歩み」では、開校100年を迎えた有田小学校から100品目130点を特別出品を願い、明治時代の開校当初から現在にいたる100年の学校の歩みをしのぶことが出来るよう具体的な資料をとりあげた。第3部門の「児童史」では、明治・大正・昭和にいたる生徒作品、学用品、遊び用具、証書類など47品目286点を、第4部門の「教育に尽した人々」では、本県出身で教育行政や教育推進に功のあった大木喬任、大隈重信、江越礼太、中島吉郎、張二男松、田沢義舎、下村湖入、中島ヤス、松信定雄、中島哀浪、山口亮一の11名をとりあげ、故人の資料86品目162点を展示した。

展示総数は519品目1113点で県下の小・中・高・大学及び県民各位から出品をお願いし、国立国会図書館からは大木喬任文書として5点の特別出品をいただいた。

出 品 目 錄

第1部門 佐賀県教育の歩み			
〈近代教育の夜明け前〉			
1 解説パネル	1枚	12 東原庠舎 初入学心得え条々	1巻
2 鬼丸聖堂の聖像三体	3軀	13 東原庠舎学制	1ヶ月
3 觀頤莊の図	1枚	14 文廟記、多久茂文書 元録14年	1ヶ月
4 觀頤莊記 元録15年	1冊	15 多久聖廟(写真)	1枚
5 天縱殿扁額 享保10年	1面	16 多久聖廟秋菜風景(写真)	1ヶ月
6 大宝聖堂の琵琶	1基	17 成章館扁額 賴子春書	1面
7 大宝聖堂碑(写真)	1枚	18 志道館扁額 小笠原長生書	1ヶ月
8 多久茂文画像	1幅	19 シテ 中門(写真)	1枚
9 文宣王像 安隆筆	1幅	20 三近堂扁額 古賀穀堂書	1面
10 東原庠舎跡(写真)	1枚	21 三近堂記念の碑(写真)	1枚
11 東原庠舎間取図	1ヶ月	22 弘道館記	1冊
		23 学政管見 古賀穀堂書	1ヶ月
		24 弘道館藏印書籍	18
		25 古賀精里書	2幅

26 弘道館関係者の寄せ書	1 ヶ	65 秀島鼓溪 積慶錄	3 ヶ
27 弘道館配置図	1 ヶ	66 ヶ 農桑道利	2 ヶ
28 弘道館記念碑 (写真)	1 枚	67 秀島鼓溪頌徳碑 (写真)	1 枚
29 好生館扁額 鍋島直正書	1 面	68 草場船山 船山遺稿	2 冊
30 好生館医学校辞令扁額 渋谷良次 あて	1 ヶ	69 ヶ 書	1 幅
31 顯微鏡 金武良哲手製	1 個	70 ヶ 頌徳碑 (写真)	1 枚
32 旧県立病院好生館正門 (写真)	1 枚	71 ヶ 肖像 (写真)	1 ヶ
33 創立当時の県立治療院正門 (写真)	1 ヶ	72 本立堂扁額 M 5年草場船山書	1 面
34 医学関係図書	23 冊	73 本立堂記扁額 ヶ	1 ヶ
35 寺小屋生の落書 (写真)	1 枚		
36 寺子の落書 (部分) (写真)	3 ヶ		
37 寺小屋風景 (写真)	3 ヶ		
38 手習七夕揮毫	1 幅	〈近代教育の出発〉	
39 西往寺山門鬼瓦	1 基	1 解説パネル	1 枚
40 寺小屋使用の机	2 脚	2 学事獎勵に関する被仰出書全文パネル	1 ヶ
41 文箱	1 台	3 学制布達に関する文書 M 5年 M 5	1 ヶ
42 書見台	1 ヶ	4 私學願 M 6年	1 冊
43 習鑑	1 冊	5 官省進達御指令留 M 5年	1 冊
44 筆	2 本	6 ヶ M 5~6年	1 ヶ
45 琥	1 ケ	7 学校設立願 M 8年	1 ヶ
46 寺小屋使用の手火鉢	1 ヶ	8 第七中学区各小学校設立同 M 10年	2 ヶ
47 寺小屋関係手習本	5 冊	9 桜岡小学校学籍簿 M 6~15年	1 ヶ
48 手習七夕揮毫	1 幅	10 勸興校入校名簿 M 11年 M 25~34年	2 ヶ
49 寺小屋関係算盤書	1 冊	11 早都栄小学校学籍簿 M 14~17年	2 ヶ
50 ヶ 読本	2 冊	12 錦浦小学校日誌 M 16~17年	2 ヶ
51 梁上二珠十露盤	1 ケ	13 有浦小学校校札 (M 8年8月設立)	1 校
52 関流算学書	4 冊	14 中嶋小学校校札 (M 8年4月設立)	1 ヶ
53 ヶ 算学秘伝書	1 卷	15 単語図 M 7年8月改正	1 枚
54 ヶ 算学神文	1 枚	16 小学校各級卒業證書 M 8・9・10年	3 ヶ
55 算木	1 箱	17 錦浦小学校 M 8年7月設立 (写真)	1 ヶ
56 草場佩川画	1 幅	18 岩屋小学校落成祝文 M 11年	1 ヶ
57 佩川詩鈔 嘉永6年	4 冊	19 佐賀県中学校修業証書 M 18年~19年	2 ヶ
58 草場佩川誕生碑 (写真)	1 枚	20 神埼中学校卒業証書 M 17年	2 ヶ
59 谷口藍田書	1 幅		
60 藍田谷口全集	5 冊		
61 谷口藍田頌徳碑 (写真)	1 枚		
62 正司碩溪書	1 幅		
63 ヶ 著書「家職要道」	3 冊		
64 ヶ ヶ 「経済問答秘録」	3 ヶ		

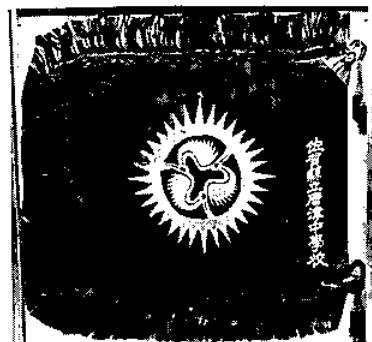


振風教校扁額

21	明治初期の卒業写真	1ヶ
22	須古小学校、玄関虹梁と鬼瓦 M 8年設立 4基	
23	振風教校扁額 M 11年	1面
24	勉脩学舎扁額 M 14年熾仁親王書	1ヶ
25	中小学区表 M 6年	1冊
26	公立小学校名位置番号便覧 M 9年	1ヶ
27	諸雑書 M 10年	1ヶ
28	〃 "	1ヶ
29	生徒賞与伺留 M 10年	1ヶ
30	学事年報 "	1ヶ
31	生徒賞与伺留 "	1ヶ
32	教員命免録 M 8年	1ヶ
33	文部省学事布達 M 15年 M 23年～26年 1級	
34	勵興小学校定期試験簿 M 14～24年	1冊
35	授業生辞令 M 8年	1枚
36	塩田伝習所卒業證書 M 9年	1ヶ
37	教員辞令 M 9～11年	5ヶ
38	学務委員辞令 M 14～16年	4ヶ
39	小学校教員免許状 M 25年	1ヶ
40	準教員免許證明書 M 33年	1ヶ
41	小学校教員免許状 M 34年	1ヶ
42	旅行願認可書 M 26年	1ヶ
43	卒業證書 下等小学第8級 M 8年	1ヶ
44	〃 第6級 M 9年	1ヶ
45	〃 小学中等科第4級 M 18年	1ヶ
46	〃 小学初等科第2級 M 18年	1ヶ
47	〃 小学初等全科 M 19年	1ヶ

〈教育制度の整備と発展〉

1	解説パネル	1枚
2	小学校祝日大祭日儀式規程 (パネル) M 24年6月	1ヶ
3	教育勅語 M 23年	1巻
4	明治天皇肖像 高木背水筆	1面
5	教育勅語謄本函	2箱
6	〃 盆	1枚
7	〃 祢沙	1ヶ
8	聖影勅語に関する書類総 M 26年	1冊
9	奉安殿 (写真)	1枚



旧制唐津中学校校旗

10	忠孝 (文天祥)	2軸
11	聖諭画鑑	1冊
12	勅語衍義 M 24年	2冊
13	教育勅語衍義 M 27年	1ヶ
14	〃 M 29年	1ヶ
15	二宮金次郎関係修身教科書	2ヶ
16	〃 像 (中野寛林製)	1基
17	高等二学生の作法教授 (写真)	1枚
18	修業證書 寶曆小第1学年 M 23年	1ヶ
19	卒業 〃 寶曆小第4ヶ年 M 26年	1ヶ
20	修業 〃 高等小第1学年 M 27年	1ヶ
21	卒業 〃 高等小第4ヶ年 M 30年	1ヶ
22	修業 〃 佐賀女学校本科 M 33年	1ヶ
23	〃 寝常小第1学年 M 39年	1ヶ
24	卒業 〃 寝常小第6学年 M 44年	1ヶ
25	明治期の教科書、修身、読本類	100冊
26	唐津小学校之図	1面
27	境野尋常高等小学校校旗	1流
28	鹿島 〃 小学校鬼瓦	1基
29	中川副尋常高等小学校鬼瓦、鐘瓦	2ヶ
30	多久南部小 時鐘	1個
31	鐵木小 〃	1ヶ
32	大坪小学校 (写真) M 27年	1枚
33	南鹿島尋常小沿革一覧表 M 37年	1幅
34	日露戦争従軍者から返礼書簡 M 37～38年 5巻	
35	児童心得 大町小 M 35年当時	1面
36	校訓 〃 〃	1ヶ
37	佐賀師範学校 M 40年代 (写真)	1枚
38	県立佐賀中学校 〃 〃	1ヶ

39 県立鹿島中学校 M40年代 (写真)	1 ツ	77 シ 校旗	1 流
40 ハ 唐津 シ シ シ 1 ツ		78 佐賀成美高等女学校校旗	1 ツ
41 ハ 小城 シ シ シ 1 ツ		79 鹿島高等女学校 シ	1 ツ
42 ハ 佐賀工業学校 シ シ シ 1 ツ		80 武雄 シ シ	1 ツ
43 ハ 有田 シ シ シ 1 ツ		81 小城高等女学校校旗	1 ツ
44 ハ 佐賀農芸学校 シ シ シ 1 ツ		82 清和 梧竹書	1 面
45 ハ 佐賀商業学校 シ シ シ 1 ツ		83 佐賀高等女学校アルバム S 4年	1 冊
46 佐賀師範学校校旗	1 流	84 成美高等女学校アルバム S 15年	2 ツ
47 龍谷中学校 ハ	1 ツ	85 小城実科高等女学校生徒募集案内 T 3年 1枚	
48 鹿島 ハ	1 ツ	86 シ 学則	1 ツ
49 唐津 ハ	1 ツ	87 「桜影」小城高女校友会誌 18号、21号 2 冊	
50 小城 ハ	1 ツ	88 佐賀県立佐賀商船学校 M40 (写真)	1 枚
51 武雄 ハ	1 ツ	89 シ 誌 S 8年	1 冊
52 三養基シ	1 ツ	90 シ 卒業写真	5 枚
53 佐賀工業学校 ハ	1 ツ	91 佐賀商船学校使用の机、椅子	2 脚
54 ハ 農学校 ハ	1 ツ	92 シ 学則	1 枚
55 ハ 商業学校 ハ	1 ツ	93 シ 入学願 T 3年	1 ツ
56 校札 佐賀県立佐賀中学校	1 ケ	94 シ 寄宿生徒心得細則	1 ツ
57 佐賀中学校生徒募集手続の記録綴 M30年 1 冊		95 シ 入学志願者心得 T 3年	1 ツ
58 「栄城」佐中校友会誌 M30~33年 1 冊		96 佐賀高等学校校旗	1 流
59 佐賀中学校定期試験問題 M36年 5 枚		97 シ 校札	1 ケ
60 佐賀中学校生徒心得 T 6年 2 冊		98 シ 校章	1 ケ
61 ハ 大正期の生徒写真 1 面		99 シ 宣誓 T 10年	1 ツ
62 ハ アルバム 2 冊		100 シ シ T 9年	1 ツ
63 「鹿城」鹿中校友会誌 S 5年 2 ツ		101 シ アルバム 菊葉同窓会 S 46年編 1 冊	
64 唐津中学校字瓦 3 枚		102 佐賀高等学校校舎 (写真) 1 枚	
65 唐津第3中学校 備品1号時計 M32年 1 台		103 シ 審訓	1 ツ
66 公立唐津中学校寄宿願 M14年 1 枚		104 シ 物理1号備品 誘導コイル	1 ツ
67 「鶴声」唐津中校友会誌 T 5年 4 冊		105 シ 物理教室鬼瓦	1 ツ
68 唐津中校旗制 定記念絵葉書 T 14年 3 枚		106 シ 時鐘	1 ケ
69 「黄城魂」小城中校友会誌 創刊号 S 11年 1 冊		107 尋常4年学級文庫	1 台
70 学生取締に関し協議決定せる事項 T 3年 1 枚		108 明治期のオルガン	1 台
71 佐賀工業学校学則 T 3年 1 ケ		109 小学唱歌上巻 M25年	1 冊
72 ハ 入学志願者諸子に告ぐ 1 ケ		〈戦時体制と教育〉	
73 佐賀盲啞学校当時の校舎 (写真) 1 ケ		1 解説パネル	1 枚
74 ハ 創立 S 9年前後の卒業 (写真) 5 ツ		2 陸軍現役将校学校配属令 T 14年 (パネル) 1 ツ	
75 シ 沿革 1 ケ		3 校訓 S 10年以前 S 20年以前 大町小 1 ケ	
76 県立佐賀高等女学校 M40年代 (写真) 1 ツ		4 吾等の誓 大町小 S 11年 8月 1 ケ	

5 教育ノ任ニ在ル者ニ下給ヘル勅語 ·S 6・10月	1 冊	3 連合軍指令公文書綴 S 21年	1 冊
6 佐賀県教員必携 S 10年	1 冊	4 墨消し教科書	1 冊
7 市内中学校銃剣道大会 (写真)	1 冊	5 墨消し教師用図書	1 冊
8 木銃	1 冊	6 墨消し学校日誌	1 冊
9 国体の本義 S 16年	1 冊	7 日本教育制度に対する管理政策	1 冊
10 臣民の道	1 冊	8 出版物没収に関する件 S 21・9月	1 冊
11 「薬隱抄」佐賀県中等教育会編 S 16年1冊		9 修身国史地理科授業停止に関する件 S 21・1月	1 冊
12 我が校地理教育 能古見尋常高小 S 15年1 冊		10 昭和21年頃のノート	3 冊
13 神社を中心とする学校経営の実際 古枝尋常高小 ·S 15年	1 冊	11 佐賀軍政部メンバー (写真)	1 冊
14 皇国民朗誦譜 S 17年	1 冊	12 女学校の募金演劇 S 22 (写真)	1 枚
15 軍人援護教育と少年団奉仕隊 S 19年	1 冊	13 戦後初の体育ダンス S 22 (写真)	1 冊
16 鹿島町国民学校奉仕帖 S 19年	1 冊	14 教育基本法 (S 22・3月) パネル	1 冊
17 我が校における軍人援護教育要項 S 19年1 冊		15 文部省暫定教科書	7 冊
18 必勝の道 S 17年	1 冊	16 新教育指針 文部省 S 21	5 冊
19 戦時実践指針 S 16年	1 冊	17 新制中学校設置案	1 枚
20 標準軍歌集 S 16年	1 冊	18 新学制実施準備協議会の設置について	2 冊
21 学校教練教科書 S 18年	1 冊	19 佐賀県立高等学校沿革一覧表 (パネル)	6 冊
22 呼子国民学校校旗	1 流	20 学校系統図 (M14・33 T 8・S 46)	4 冊
23 県下中学校合同演習 (写真)	1 枚		
24 開兵 中学女学校合同演習 (写真)	1 冊		
25 銃後奉公の誓 (写真)	1 冊		
26 勤労奉仕 (写真)	1 冊		
27 ツ 佐賀高校の掲開拓 (写真)	1 冊		
28 鹿島町旭岡少年団旗	1 流		
29 境野少年団旗	1 冊		
30 戦時教育令 S 20年 (パネル)	1 枚		
31 中等教育応召調綴 S 19年	1 冊		
32 学徒勤労報酬隊に関する書類綴 S 20年1 冊			
33 学徒報國隊腕章	1 冊		
34 救急袋	1		
35 学徒出陣にあたって S 18・12月 京都帝大法學部教授陣の寄せ書	1 枚		
36 予科練入隊寄せ書 S 19年	1 冊		
37 学徒出陣 佐高 (写真)	1		
〈新教育制度の出発〉			
1 解説パネル	1 枚		
2 進駐軍との交渉に関する件 S 21年	2 冊		

第2部門 学校 100年の歩み

有田小学校

1 江越初代校長の肖像	1 枚
2 ツ 胸像	
3 如心 (江越校長) 記念碑 (写真)	1 枚
4 ツ 墓碑 (写真)	1 冊
5 白川小学校時代の校印	1 ケ
6 第一回内国勧業博の賞状 M10年	1 冊
7 長崎県令よりの表彰状 M12年	1 冊
8 褐 M初年頃	1 着
9 紋付、羽織、袴 M初年頃	1 冊
10 卒業証書 小学第6級後期卒業 M14年1枚	
11 第二回内国勧業博賞状 M14年	1 冊
12 生徒作品 習字 明治初期	3 冊
13 卒業証書 小学第四級前期卒業 M15年1 冊	
14 文部省表彰状 (3等奨励品) M17年	1 冊
15 学校日誌 M15・17年	2 冊
16 卒業証書 小学初等科第四級M16年	1 枚
17 学校鬼瓦	1 基
18 卒業証書 M17年	1 枚

9 賞状（品行端正ニ付） M18年	1 ヶ	58 旧校歌 S 11年	1面
10 職員出勤簿 M17~22年	5 冊	59 健康教育に関する実践写真 S 12~	10枚
11 賞状（学力品行高点ニ付） M21年	1 枚	60 賞状（第一回全国学童水泳大会）S 13年	1枚
12 卒業証書 尋常小学校卒業 M21年	1 ヶ	61 健康向上児表彰状 S 13年	1 ヶ
13 第三回内国勵業博賞状 M23年	1 ヶ	62 賞状（体操大会） S 13年	1 ヶ
14 教育勅語	1巻	63 賞状（健康教育） S 14年	1 ヶ
15 徒弟学校の給与辞令 M25年	1 枚	64 学校給食室 汽罐設置願 S 14年	1 ヶ
16 徒弟学校への寄付状 M25年	1 ヶ	65 ツ 完成 S 14年 (写真)	1 ヶ
17 卒業証書 尋常小学校 M27年	1 ヶ	66 教育施設一覧並校報 S 14年	1 冊
18 ツ ツ M29年	1 ヶ	67 賞状（学童水泳大会） S 16年	1枚
19 賞状 出席優等ニ付 M30年	1 ヶ	68 創立七十年史 S 16年	1 冊
30 徒弟学校生製作の磁器 M30年	4 ケ	69 防空頭巾 S 18年	1着
31 時鐘	1 個	70 通学用雑のう S 19年	1ケ
32 卒業証書 尋常小学校4ヶ年 M32年	1 枚	71 カバン 終戦時	1 ヶ
33 通知表 M33年	1 ヶ	72 リュック	1 ヶ
34 卒業証書 尋常小学校 M34年	1 ヶ	73 新教育の目標 S 22年	1面
35 賞状 1カ年精勤ニ付 M34年	1 ヶ	74 新教育指針 文部省 S 22年	5 冊
36 卒業証書 高等小学校4ヶ年 M35年	1 ヶ	75 賞状（P T A社会教育） S 23年	1枚
37 ツ 尋常小学校 M36年		76 P T A機関紙綴「しらかわ」 S 23年	1 冊
38 生徒作品 絵画 M36年	1 級	77 学校創立八十年誌 S 26年	1 ヶ
39 上梁二珠十露盤	1 ケ	78 賞状（学校植林コンクール） S 27年	1枚
40 梅皿	1 ケ	79 校歌 S 28年	1面
41 紙石盤	1 枚	80 賞状（P T A） S 30年	1枚
42 石板、石筆	2 箱	81 賞状（子ども銀行） S 32年	1枚
43 五玉ソロバン、計算玉	1 ケ	82 賞状（子ども銀行、県知事より） S 30年	1 ヶ
44 卒業証書 高等小学校 M40年	1 枚	83 校舎改築落成九十周年記念誌 S 36年	1 冊
45 通知表 M41年	1 ヶ	84 ツ S 36年 写真（大）	1枚
46 成申詔書 M41年	1 卷	85 新校舎写真 S 36年 全景（大）	1面
47 賞状（学力秀抜皆勤ニ付） M45年	1 枚	86 ツ 校内写真 S 36年	2 ヶ
48 通知表 T 2年	1 ヶ	87 ツ 設計図綴 S 36年	1 級
49 卒業証書 T 3年	1 ヶ	88 賞状（健康優良校） S 37年	1枚
50 通知表 T 4年	1 ヶ	89 賞状（P T A） S 38年	1 ヶ
51 第九代校長 坂本満次郎先生書	1 幅	90 賞状（学校図書館） S 38年	1 ヶ
52 ツ 坂本校長の写真	1 枚	91 賞状（学校給食） S 39年	1 ヶ
53 開校五十年史 T 10年	1 冊	92 生活信条 S 40年	1 ヶ
54 運動会の歌（有田尋常小学校）T 11年	1 面	93 賞状（子ども銀行） S 43年	1面
55 大正時代の校舎写真（旧校舎）	1 枚	94 教育機器授業風景 S 44年 (写真)	1 ヶ
56 ラジオ・スピーカー S 初	各 1	95 ツ 研究発表会風景 S 46年	1 ヶ
57 陶器の帽章	5 ケ	96 百周年記念式典風景 S 46年 (写真)	1面

97	〃	記念誌	S 46年	1冊	33	〃	〃	図画	S 3	1ヶ
98	〃	記念磁器	S 46年	1基	34	〃	〃	図画	S 12	1幅
99	〃	坂田前文部大臣書	S 46年	1面	35	ノート	明治期	20年代	師範学校	5冊
100	賞状(学研費)	賞品	S 46年	1ヶ	36	〃	〃	10ヶ	中学校	3ヶ
第3部門 児童史										
1	服装のうつりかわり	M 33・40、T 6 S 2・5・12・16・19	10枚	37	〃	〃	10ヶ	〃	高等小	4ヶ
2	汽車双六	T 13年	1ヶ	38	〃	昭和期	10ヶ	〃	昭和	2ヶ
3	鉄道競争双六	T 14年	1ヶ	39	親子	4代	ノート	明治～昭和	6冊	
4	世界一周双六	T 15年	1ヶ	40	成績表	明治	26～28年	3枚		
5	コマ	8ヶ	1ヶ	41	通告表	明	27～明44年	7ヶ		
6	ペチャ	130枚	130枚	42	賞状	明	18～24	大正3～8	4ヶ	
7	なわとびひも	2本	2本	43	佐賀高等女学校卒業生作文	明治期	6冊			
8	ビー玉	20	6冊	44	〃	図画	ク	4ヶ		
9	海軍ものしり絵本外	S 13年	4ヶ	45	〃	習字	ク	5ヶ		
10	写真週報	S 13～14年	1ヶ	46	佐賀女子校裁縫実習作品	10着				
11	漫画爆笑隊	S 13年	1ヶ	47	佐賀市成美女学校	第1回・第2回卒業記念刺繡	1基			
12	大毎小学生新聞	S 13年11月	2枚	第4部門 教育に尽した人々						
13	筆入	明治期～大正期	3ヶ	○	大木喬任資料					
14	弁当箱	明治期	1ヶ	1	大木喬任肖像(写真)	1枚				
15	紙はさみ	2ヶ	2ヶ	2	〃 頌徳碑(写真)	1ヶ				
16	筆巻き	1ヶ	1ヶ	3	〃 書	1幅				
17	硯	2ヶ	2ヶ	4	学制制定の同	1枚				
18	パレット	2ヶ	2ヶ	5	学制案	1綴				
19	梅皿	1ヶ	1ヶ	6	学制に関する意見書	自筆				
20	針箱	1合	1合	7	人世の目的を論ず	1ヶ				
21	刺繡用具	4ヶ	4ヶ	8	人世についての断片	1枚				
22	陶製水筒	1ヶ	1ヶ	○	大隈重信資料					
23	小城中背のう	S 18年使用	1ヶ	9	大隈重信肖像(写真)	1枚				
24	夏季學習帖第4学年	T 7・9、S 5	3	10	〃 生家(〃)	1ヶ				
25	冬ヤスマレンシウ帖	S 8年	1冊	11	〃 書	1ヶ				
26	プリント代用實習ノート 算術、説方 等常5	S 12	1冊	12	〃 参議時代の袴	1着				
27	生徒作品	明治期図画	5枚	13	〃 の著述書	5冊				
28	〃	〃 習字	2ヶ	14	〃 書状(自署名)	1枚				
29	〃	大正期綴り方	2ヶ	15	〃 関係写真(組写真パネル)	1ヶ				
30	〃	〃 習字	2ヶ	○	江越礼太資料					
31	〃	〃 図画	2綴	16	江越礼太肖像	M 31年				
32	〃	昭和期習字	S 12	17	〃 書、画、屏風	2曲1雙				
				○	中島吉郎資料					
				18	中島吉郎肖像(写真)	1枚				

19	〃	頌徳碑(〃)	1々	53	〃	書	2々
20	〃	神埼神陽学館時代(写真)	1々	54	〃	書状(永杉先生あて)	2通
21	〃	書	3幅	55	〃	履歴書 自筆	1綴
22	〃	教員免許書 M27年	1枚	56	〃	著作	10冊
23	〃	遺訓	1々	57	〃	歌碑拓本	1面
24	佐賀先哲叢話原稿		3綴	○	中島ヤス資料		
25	〃	叢話	2冊	58	〃	肖像画	1枚
26	〃	遺韻	1々	59	〃	頌徳碑文拓本	1面
27	〃	道窓詩集	1々	60	〃	頌徳碑(写真)	1枚
28	〃	槐堂書	1々	61	〃	裁縫女学校関係(写真)	3々
○	張二男松資料			62	日本赤十字社篤志看護婦人会時代着用の制帽(M37~8年代)	1着	
29	張二男松肖像(写真)		1枚	63	中島ヤス作品 刺繡19才	1枚	
30	〃	頌徳碑(写真)	1々	64	〃	折紙	10々
31	〃	書簡	2々	65	〃	色紙、のし	7枚
32	張先生銅像建設者名簿		1冊	66	〃	校友会誌	3冊
33	張二男松記念帖		2々	○	松信定雄資料		
34	〃	自序伝	1綴	67	松信定雄肖像(写真)	1枚	
35	〃	隨筆録	1冊	68	〃	胸像	1基
36	〃	名譽録	1々	69	〃	書	2幅
37	〃	愛用品	5ヶ	70	〃	書額	1面
○	田沢義鋪資料			71	中尾部昭翁頌徳碑文稿	1巻	
38	田沢義鋪肖像(写真)		1枚	72	〃	愛用の硯	1ヶ
39	〃	頌徳碑(写真)	1々	73	〃	印章	2ヶ
40	〃	生家(写真)	1々	74	〃	時鐘塔	5冊
41	〃	愛用の木剣	1本	○	中島哀浪資料		
42	〃	旅先からの電報	1枚	75	中島哀浪歌碑(写真)	1枚	
43	田沢義鋪御進講記念写真		1々	76	〃	肖像(写真)	1々
44	〃	衆議院立候補の理由と政見	1冊	77	〃	柿百首原稿	1冊
45	〃	最後の講演原稿	1綴	78	〃	背振 〃	1々
46	〃	御臨終記	1々	79	〃	文芸・日記	2々
47	〃	著作	13冊	80	〃	著作	6冊
48	〃	硯	1ヶ	81	愛用の品々 センス、印章、キセル、万年筆、時計	7点	
○	下地湖人資料			82	中島哀浪自筆和歌いり花瓶	1	
49	下村湖人肖像(写真)		1枚	83	〃	和歌額	2面
50	〃	生家(写真)	1々	○	山口亮一資料		
51	〃	校歌 自筆	1幅	84	山口亮一自画像	1面	
52	〃	送付書状	1々	85	永井茂雄先生あて書簡	1巻	
				86	麦と黒	1面	

(1)佐賀県高等学校美術展

主 催 佐賀県高等学校美術連盟、佐賀県立博物館

会 期 昭和47年12月5日～12月10日

会 場 大・中展示室

観覧料 無料

水彩画、油彩 約 200点

(2)日本古地図絵図展

主 催 佐賀県立図書館、佐賀県立博物館

会 期 昭和48年1月25日～2月13日

会 場 1・2・3号・大展示室

観覧料 個人

大人50円 大・高生30円 中・小
生20円

団体（団体は20名以上）

大人30円 大・高生20円 中・小
生10円

記念講演会

日時 48年1月27日（土）午後2時から

会場 佐賀県立博物館 中展示室

演題 世界地図学史における日本の古地図

講師 広島大学教授 米倉二郎氏



展示概況

本展は、これまで開催された同種の展覧会では、最大規模のもので、NHKスタジオ 102でもとりあげられ、全国的にも大きな反響をよんだ。期間中の入場者は、8,500名。

展示資料は鍋島藩が300年にわたって収集、作製した古繪地図で、本邦初公開。中には日本近代史のカギをとく貴重な地図も多く、県民はもとより、県外から訪れた専門家の賞讃もあびた。なお、同展を機に県立図書館所蔵の古地図絵図 1,127点の総目録および、主要なもの 200点の図録を作製、一般に頒布し好評を得た。

出 品

目 錄

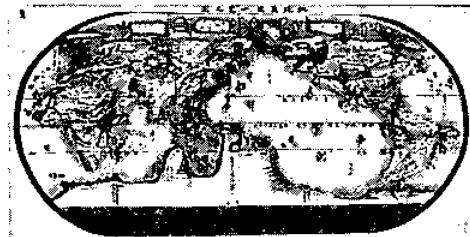
〔宇宙図、世界図、アジア図〕

九重天理数図

北極南極星位下図、上図、渾地図、震旦国図、
天竺図

天下九辺万国人跡路程全図

地球万国一覧之図



地球万国一覧之図 79× 158cm

地球万国山海輿地図

新刊輿地全図、輿墜航海図、世界図、朝鮮八道
之図、新訂万国全図

〔中国、近畿地方〕

長防国図

下関より小郡までの交通図

広島領地海岸之図、阿波国地図

淡路島地図、大和國地図

京町絵図細見大成

明石城郭之図、近江国之図

増修改正攝州大阪地図

難波国之図

伏見古御城絵図

大阪城立体図

大阪城郭、同殿中間取図

大和川測量之図

〔中部、関東地方〕

信濃郡村絵図、相模国地図

佐渡国地図、豆州下田湊測量図

上野国之地图、江ノ島之図

伊豆七島全図、日光山之図

江戸図鑑綱目、長禄年中江戸図

常陸国絵図

〔東北、北海道地方〕

奥州仙台輿地全図

高館（平泉）古城之図

陸奥出羽郡行程全図

奥州七郡図、蝦夷地図之図

東西蝦夷山川地理取調図

蝦夷國境地全図、蝦夷雜図

〔日本国図〕

日本之図（御蔵入記入）

改正日本輿地路程全図

新訂日本輿地全図

伊能忠毅 実測日本図

日本絵図（石高入）

〔フロアーケース分〕

奥州海岸之図

箱館湊、同近海之図

松前湊、魯西亞營館之図

〔九州地方〕

西国道九カ国図、九州九カ国之絵図、豊後日田
郡図

薩摩大隅国絵図、薩州見取絵図

琉球絵図、熊本絵図、島原絵図、

筑後柳川城絵図

筑前国福岡城図

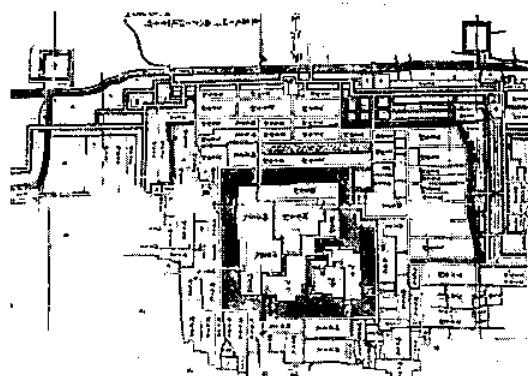
〔佐賀城下図〕

佐賀小城内絵図、佐賀御積絵図

佐賀城廻之絵図

佐賀城井小路町図

佐賀城糾屋町絵図



佐賀城廻之絵図 325× 206cm

〔東松浦地方〕

呼子村図、肥前名護屋城図
名護屋古城之図、原村図面
唐津内町外町之図
唐津城郭兼海岸之図、松浦郡唐津海岸之図、肥前国產物図考

〔三養基、神崎地方〕

養父郡東部図、基肆、養父郡図
背振弁財岳公事裁許絵図
肥筑境川図、千年川図

〔小城、佐賀地方〕

小城郡多久郷図
小城郡村図
佐賀郷久池井村之内川上神領図
川副下郷早津江村図

〔杵島、藤津地方〕

須古牧、稻佐牧境図
須古屋舎図
鹿島高津原屋敷図
鹿島藩支配惣絵図
嬉野郷湯内邑図

〔西松浦地方〕

松浦郡山代郷久原村石炭鉛図
松浦郡山代郷長浜村図
高橋～伊万里迄江筋見立之図
伊万里湾境目図



慶長肥前国絵図 243×249cm

伊万里御船屋図

〔合戦図など〕

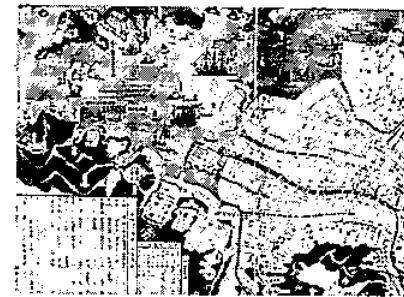
肥前国春（原）城攻図
大阪の陣図（夏の陣）
〃（冬の陣）

関が原古戦場之図

曉岳接戦之図、小田原城之図
川中島合戦之図
春日山古城之図
千早城同諸家陣之図
鉄砲秘傳、一谷合戦絵巻物

〔国絵図、長崎地方〕

慶長肥前国絵図
正保 〃
元禄 〃
長崎湊内外之図



肥前長崎図 46×68cm

長崎、大村周辺図

長崎港測量図
長崎港鳥瞰図、五島絵図

〔台場、軍事関係〕

佐賀藩三重津海軍所之図
直正公写川砲台巡視之図
忠宣公蘭絞乗込図
多布施公儀石火矢鋤立所図
築地石火矢鋤立方図
精煉方図
長崎、戸町両番所図
長崎両番所台場見取図
長崎警備（正保4年）図
諫早諸手陣図
長崎港外国舷舶碇泊之図
伊王島台場図、神島図
長崎海軍伝習所之図
長崎築堡填海工事図

3. 昭和47年度観覧者数

展 覧 会 名	A. 常設 展			B. 企画 展			開 館 日 数	一日平均
	観 覧 者 数	個 人	團 体	招待者	優待券	合 計		
佐賀県の歴史と文化展	5,453	1,940	4,335	877	237	4,512	255	111 17,720人 170日 104.2人

展 覧 会 名	観 覧 者 数			個 人			團 体			招待者	優待券	合 計	開 館 日 数	一日平均	備 考
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小						
第40回独立美術協会展	1,627	527	597	444	3,378	1,274	741		8,588	11	780.7				
鳥										19					
有明海・玄海漁撈具展										19					
土生・久藤遺跡資料展										19					
理科作品佐賀市支部展	999	187	498	204	612	903	431		3,834	10	383.4				
理 科 作 品										2,031	4	507.7			
菅										4,464	7	637.7			
山口亮一画業展	999	187	498	204	612	903	431		3,834	10	383.4				
理科作品佐賀市支部展	999	187	498	204	612	903	431		3,834	10	383.4				
菅										2,031	4	507.7			
ジエームズ・アンソール展	2,951	777	506	114	296	635	681	25	5,986	29	206.3				
第22回佐賀県美術展	5,154	1,730	1,933	12,096	10,708	6,153	1,584		39,358	20	1,967.9				
学制発布100年記念教育資料展	4,539	1,391	2,130	431	2,981	2,912	555		14,939	9	1,659.9				
佐賀県高等学校美術展	1,033	294	779	83	1,912	525	194	129	4,949	33	149.9				
日本古地図・絵図展	1,926	336	1,112	128	1,395	2,589	532	340	8,358	6	90.5				
合 計	18,229	5,242	7,555	13,500	21,282	14,991	4,718	494	93,049人	17	491.7				

47年度観覧者総数(A+B)

観 覧 者 総 数	個 人			團 体			招待者	優待券	合 計	開 館 日 数	一日平均
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小					
23,682	7,182	11,890	14,377	21,519	19,503	4,973	605	110,769人	373日	297.5人	

4. 普及活動

(1) 資料の刊行

○目録

- ・「有明海・玄海漁撈具の手引」
- ・「佐賀県教育の歩み」
- ・「佐賀県の歴史と文化展」

○図録

- ・「土生・久蘇遺跡展—原始農耕社会を探る」
- ・「蒼海・梧竹の書」

○年報

B5 60頁 年1回

○博物館報

B5 8頁 年6回

(2) 博物館研究講座

博物館の企画展開催中に展示資料を中心とした研究講座を中展示室で実施した。

期日	演題	講師名	聴講者数
昭47・7・18 47・8・5	有明海の漁撈習俗について 土生遺跡の考古学上の価値について	副館長 木下之治氏 〃 〃	15 36
47・10・14	蒼海・梧竹の書について—その鑑賞—	佐賀大学助教授 土肥禎利氏	196
48・1・13	学制100年をめぐる佐賀の教育	〃 杉谷昭氏	46
48・2・24	佐賀の化石について	佐賀大学講師 西田民雄氏	65
計			358人

(3) 博物館教室

県内の中学生と高校生を対象として、博物館に親しみをもち、楽しく学ぶ機会を与えるとともに、博物館利用の啓蒙をはかるため、博物館資料を中心とした博物館教室を次のとおり実施した。

なお、7月23日には、佐賀市教育委員会が実施した佐賀市金立町大門遺跡の発掘調査に参加して、発掘の体験をさせた。



博物館教室（大門遺跡の説明）

期日	題名	講師名	聴講者数
昭47・5・21	考古学はどういう学問か	副館長 木下 之治	47
47・5・28	先土器時代について	学芸員 森 醇一朗	32
47・7・2	古代の寺院と仏像	副館長 木下 之治	17
47・7・9	縄文時代の遺跡と遺物	学芸員 森 醇一朗	20
47・7・16	弥生時代の文化と社会	副館長 木下 之治	20
47・7・23	末法思想と経塚	副館長 木下 之治	12
47・7・30	佐賀藩と長崎警備	学芸員補 尾形 善郎	11
47・8・6	弥生時代の住居と墓制	学芸員 木下 巧	11
47・8・13	日本刀の見方	嘱託 浜野 四郎	12
47・8・20	弥生時代の土器と金属器	学芸員 木下 巧	14
計			196人

(4)移動博物館

普及事業の積極的推進をはかるため、博物館利用の機会に恵まれない地域の人々のため移動博物館を実施しているが、今年度は11月2日から4日まで武雄市民集会所で、11月10日から12日まで有明町公民館に於いて開催した。

展示品は、当館に所蔵している考古資料を中心として、武雄市では、同市所有の潮見古墳の出土品を展示し、また有明町では上記の考古資料のほか、精煉方図等の絵図、吉賀精里、江藤新平の書などの歴史資料を展示した。

両会場とも木下文化財調査監を講師として「武雄市の古代」、「古代有明町の文化」についての講演、有明町では、同町教職員に対し「杵島山の古代」について特別講演を実施した。

名称	会場名	期日	期間	観覧者数
移動博物館	武雄市市民集合所	昭47・11・2～11・4	3	3,527
〃	有明町公民館	昭47・11・10～11・12	3	2,123
計			6	5,650人

5. 発掘調査

白蛇山岩陰遺跡第2次発掘調査

昭和45年10月に佐賀県立博物館が開館し、昭和46年度博物館事業の一環として、「佐賀県における先土器時代より縄文時代の編年の確立」という目的をもって、地元伊万里市教育委員会と共に、白蛇山岩陰遺跡第1次発掘調査を昭和46年7月25日より8月3日までの10日間実施した。

第2次発掘調査は前回同様伊万里市教育委員会と共に、遺跡の所在する脇野地区の協力を受け、昭和48年2月23日より3月5日まで11日間実施した。今回の発掘地点は第1次調査時に設定した上洞の薬師堂北側のAトレンチ（2m×6m）の発掘に主眼点をおき、遺物と層位の関連性、出土地点の明確な記録を目的とした。

調査の結果遺物包含層は約3.5m、13層に分離でき、上部より表土層を1層とし、2層より9層までが縄文時代の文化層である。遺物は上層部より縄文時代後期の磨消縄文土器より始まり、中期の阿高系、前期の曾畠系・早期の押型文・条痕文・ツメ形文・隆帶文土器と変化に富み、この各種土器に伴い黒曜石製と安山岩製の各種の石器が多量出土している。

10層が無遺物層で落石が多く当地における地盤変化のもっとも激しかった時期であることが推定され、生活のあとがほとんどみうけられない。

さらにつこの層が先土器時代と縄文時代とを明確に分ける地層になっており、11層から13層までが先土器時代の文化層で、細石核・細石刃を主体に剥器が出土し、県内において先土器時代の資料が完全な層位のもと、出土した唯一の遺跡として注目される。

今後は資料の整理をおこない昭和48年度中に調査報告書を発行する予定である。



最深層の調査

博物館資料の概況

1. 昭和46年度末資料の概況

資料は大別して自然史資料、考古資料、歴史資料、美術工芸資料および民俗資料に分類しているが、その概況はつぎのとおりである。

資料 約40,000点

自然史資料 約4,800点

佐賀県地形模型（25,000分の1）

恐龍（タイラノザウルス）の生態模型（2分の1大）

原生代（コレニヤ）・古生代（パラフズリナ・シダ）

中生代（魚類・アンモナイト・ヨコヤマオウム貝）} の各種化石

新世代（メタセコイヤ・シキシマバス・二枚貝・サメ）}

県内の岩石・植物・昆虫・野鳥などの標本

有明海・玄海の魚貝類標本

天然記念物カササギの生態資料

有明海の干潟と生物の模型

考古資料 約18,100点

○先土器時代

杵島郡鬼の鼻山、多久市三年山・同茶園原遺跡出土の尖頭器

馬渡島切立遺跡出土の細石器

白蛇山岩陰遺跡出土の細石器

○縄文時代

西有田町盗人岩洞穴出土の石器・土器

白蛇山岩陰遺跡出土の石器・土器

西有田町坂の下遺跡出土の石器・土器・木器・編み物・木の実

青森県出土の縄文式土器

○弥生時代

三日月町土生遺跡出土の石器・土器・木器・炭化米・木の実

呼子町大友遺跡出土のカメ棺・裴身具・伸展葬と屈葬人骨

唐津市桜馬場出土の鏡・銅釧・巴型銅器ほか（重要文化財）

北方町東宮裾・桟島山遺跡出土遺物の一括遺物

県内出土の各種銅鏡・銅劍・銅弋等

上峰村切通・唐津市葉山尻・神埼町八子遺跡等出土のカメ棺

○古墳時代

佐賀市熊本山出土の舟型石棺ならびに副葬品（県重要文化財）

県内出土の武器武具・農耕用具

基山町伊勢山遺跡出土の祭祀遺物

北方町永池古墳の線刻文様（人物）
鳥栖市太田古墳（史跡）の模型および同古墳の壁画模写図・復原図

歴史資料 約1,200点

基肄城跡（特別史跡）出土瓦
国分寺跡出土瓦および同寺瓦窯跡出土瓦
県内出土の藏骨器
県内出土の在銘経筒
木造聖観音立像（重要文化財の模造）
木造帝釈天立像（重要文化財）
木造持国天立像（県重要文化財）
木造円鑑禪師坐像（重要文化財）
八字文珠菩薩騎獅図像（県重要文化財）
大和町水上懸仏（県重要文化財）
肥前鐘（県重要文化財）
今山合戦関係資料
豊臣秀吉の朱印状ほか文禄慶長の役関係資料
肥前名護屋城図屏風
朝鮮國禮曹の通諭文
鍋島直茂・同勝茂の画像および自筆書状
島原の乱関係資料
藩政時代の国絵図・佐賀城下絵図・佐賀城内絵図
藩政時代の文教資料
幕末における佐賀藩の長崎警備関係資料
幕末における佐賀藩の西洋文化攝取関係資料
パリ一萬国博覧会（慶應3年）参加関係資料
戊辰の役関係資料
佐賀の乱関係資料
郷土先覚者の書・画

美術工芸資料 約16,100点（陶片を含む）

書 跡

副島蒼海・中林梧竹・西川春洞・大坪格軒の書

絵 画

高橋 由一（鮎）

百武 兼行（イタリア風景・マンドリンをもつ少女・老婦人像）

久米桂一郎（フランス風景・秋景・加茂川の新緑・清水寺）

小代 為重（久米桂一郎肖像・少女・テームス河畔）

岡田三郎助（花野・大隈伯夫人像・バラ）

藤島 武二（裸婦）

青木 繁（ランプ・男の像・神話・夕焼けの海・筑後風景）

高木背水・北島浅一・武藤辰平・山口亮一ほか本県関係の代表的画家の作品

刀剣その他

初代・2代・3代・6代・7代忠吉などの肥前刀匠の作品（刀・短刀・槍先）鐔・鎧・火なわ式
銃・大筒

陶磁器

古唐津系（茶碗・皿・鉢・大鉢・水指・徳利・花瓶・大壺）

初期伊万里系（茶碗・皿・徳利）

古伊万里系（VOC商標入皿・鉢・水指・徳利・角瓶・婦人像）

柿右衛門系（深鉢・徳利・壺・陶板）

鍋島藩窯系（皿・大皿・青磁花器）

県内の古窯跡出土の陶磁器片（各種）

民俗資料 約 800点

有明海の漁撈具一式（重要民俗資料）

玄海の捕鯨用具一式

田代製糞関係資料

製蠟関係資料

採炭用具一式

石造物（観音像・地蔵像・肥前狛犬・五輪塔・板碑・六地蔵・三重塔・名護屋城旗竿石）

2. 昭和47年度購入資料

① 自然史資料

クロサギ剥製標本

ハイタカ タ

アオバト タ

ヤマセミ タ

カワガラス タ

はねるムツゴロウ（カラー、四切）

冬の干潟（カラー、四切）

春の入陽（カラー、四切）

ムツゴロウの生態（白黒、半切）

マナヅル（日本画、50号）

キジ（日本画、50号）

カワセミ（日本画、50号）

◎佐賀県産トンボ類標本

（製作 佐賀北高校教諭 市場利哉）

イトトンボ科

キイトトンボ ♂2、♀1

ベニイトトンボ ♂2♀2

アジアイトトンボ ♂1、♀1

アオモンイトトンボ ♂2、♀1

クロイトトンボ ♂2、♀2

セスジイトトンボ ♂2、♀2

オオイトトンボ ♂1、♀1

モノサシトンボ科

モノサシトンボ ♂2、♀2

グンバイトンボ ♂1

アオイトトンボ科
ホソミオツネントンボ ♂1

オオアオイトトンボ ♂1

カワトンボ科
アオハダトンボ ♀2、♀2
ハグロトンボ ♂3、♀1
ミヤマカワトンボ ♂2、♀1
カワトンボ ♂5、♀2

ムカシトンボ科
ムカシトンボ ♂2、♀2

ムカシヤンマ科
ムカシヤンマ ♂1

ヤンマ科
ミルンヤンマ ♂1
アオヤンマ ♂1、♀1
ギンヤンマ ♂1、♀1
クロスジギンヤンマ ♂1、♀1
カトリヤンマ ♂2、♀1
コシボソヤンマ ♀1
マルタンヤンマ ♀1

オニヤンマ科
オニヤンマ ♂2、♀1

サナエトンボ科
ミヤマサナエ ♀1
フタスジサナエ ♂1
クロサナエ ♂1
オナガサナエ ♀1
キイロサナエ ♂1、♀1
ヤマサナエ ♂1、♀1
ヒメクロサナエ ♂2、♀2
ダビドサナエ ♂2、♀2
ウチワヤンマ ♂1
タイワンウチワヤンマ ♂1

ヤマトンボ科
コヤマトンボ ♂1、♀1
キイロヤマトンボ ♀1
オオヤマトンボ ♂1

トンボ科
ハラビロトンボ ♂1、♀1

シオカラトンボ ♂1、♀1
シオヤトンボ ♂1、♀1
オオシオカラトンボ ♂1、♀1
ヨツボシトンボ ♂1
ハッショウトンボ ♂2、♀2
ショウジョウトンボ ♂1、♀1
コフキトンボ ♂1、♀1
タイリクアカネ ♂1、♀1
ミヤマアカネ ♂1、♀1
ナツアカネ ♂1、♀1
アキアカネ ♂1、♀1
ヒメアカネ ♂1、♀1
マユタテアカネ ♂1、♀1
リスアカネ ♂1、♀1
キトンボ ♀1
ネキトンボ ♂1
コシアキトンボ ♂1、♀1
チョウトンボ ♀1
ウスバキトンボ ♂1、♀1

計 11科58種 127点

②歴史資料

品名	数量	規格
相知町セセリ谷経塚出土遺物 滑石製外筒	1	全高37.5cm
銅板鉗止め経筒	1	全高25.5cm
紙本の写経	10巻	天地24.8cm
草場船山書 墨竹画贊	1幅	紙本墨書き、軸装 121×29.7cm
古賀精里書 「山色搖光」七絶詩	1組2幅	絹本墨書き、軸装 155.3×50.3cm
島 義勇書 「野見当麻」七絶詩	1幅	紙本墨書き、軸装 131×31cm
武富坦南画 玳瑁亘自画贊	1幅	絹本墨書き、軸装 112.5×38.8cm

③美術・工芸資料

品名	作者	数量	規格
書跡			
「西園公子云々」	副島種臣	1	249×123cm 軸装
「江月去人云々」	副島種臣	1	137×67.5cm 軸装
「之子千帰云々」	副島種臣	1	17×114.5cm 頭装
「十七日先書云々」	中林梧竹	1	屏風6曲1双 本紙各 134.5×51cm
絵画			
画家の妹	北島浅一	1	油彩 F 40
虹	武藤辰平	1	油彩 F 60
裸婦	藤島武二	1	パステル F 4
ひまわり	田中宗一	1	水彩 48.5×57.5cm
新緑	田中宗一	1	水彩 54×75cm
双樹	高柳種行	1	油彩 F 80
黒い牛	高柳種行	1	油彩 F 50
寂光	田原 輝	1	油彩 F 100
臼杵の仏	田原 輝	1	油彩 変80
工芸			
古唐津叩き飴釉壺		1	口径12.6cm 高15cm
靈獸文布目五彩大鉢		1	径63cm 高 8 cm
染錦獅子頭付飾壺		1	胴径71cm 高 150cm

3. 昭和47年度寄贈資料

①自然史資料

品 名	数量	規 格	寄贈者
カササギの里	1	カラーフィルム録音テープ付	NHK佐賀放送局
ホオジロガモ	1	剥製、台付	藤井尚弘
二枚貝化石	5		岐阜県土岐郡
巻貝化石	2		笠原町
ツボ石	3	標 本	嶋内重夫
ひすい系岩石	4		
はねるムツゴロウ	1	カラー写真四ッ切	音成三男
カササギ	2	大韓民国産、台付	竹下八郎
カブトガニ	2	有明海の産	横尾多美雄

②歴史資料

品 名	数量	規 格	寄贈者
火薬式銃	1	全長 106cm 口径 1.5cm	藤井尚弘
御薬製方化学用德利	1	口径 3.7cm 高さ 23.0cm	古川誠逸
砲弾	1	径12.0cm	寺崎正英

③美術・工芸資料

品 名	数量	作者	材質・寸法	寄贈者
磁器梨地燈籠	1	岩尾対山窯	磁器 径90cm高 180cm	岩尾新一
釉裏紅金彩魚文額皿	1	松本佩山	磁器 径22.5cm	河村龍夫
厨子甕	1	琉球壺屋	陶器 46×51×88.5cm	奥平 潤

④民俗資料

品 名	数量	規 格	寄贈者
千齒	2	24本丸鉄齒 21本板鉄齒	平 又市
碾臼 大	1組	78×22cm 引手穴24ヶ石製	江頭 克尚
タ 小	1 タ	23.5×14cm (上) 37×57cm (下) 石製	"
羅針盤	1	径 8.8cm高さ 4.5cm木縁木蓋	井上 完
船名額	1	26×40cm「金若丸」墨書木額	"
太宝丸船魂	1	21.2×10× 7.6cm 木製	白浜千鶴雄
屋根葺き用具	1組	こて1、なたかま1、さしがま1 払いがま2、はさみ1、うまがま1、	江口 一磨

4. 昭和47年度寄託資料

①自然史資料

品 名	数量	規 格	寄贈者
化石(ヨコヤマオウムガイ)	1	東松浦郡北波多村稗田鮎返り産	伊万里市南波多町 井手野 前田 弘

②考古資料

品 名	数量	規 格	寄 託 者
三角縁三神三獸鏡	1	径22cm	伊万里市 教育委員会
鉄 刀	7		〃
銅 銛	2		〃

③歴史資料

品 名	数量	規 格	寄託者
戊辰の役小旗	1組	赤布幟1、小旗2、小旗竿2	柳川 俊二
時鐘	1	径30.5 高さ35cm	鍋島報效会
アイヌ塑像	2	高29cm、30cm	〃
十露盤	2	13.5×58.5cm 梁上二珠	〃
印章	16		
権園屏風	1	144×50cm 6曲1隻	〃
実験用三枝管付磁器用具	1組	上下一対 高さ37.5cm	〃
円筒磁器	1	径15.5 高さ15.5cm	〃
袈裟	2	牡丹雲龍刺繡 136×345cm 亀甲文絹地牡丹刺繡 130×363cm	林 静夫
古川松根硯	1	富士型 17×17.2×5.7cm	増田儀一郎
山本常朝自画贊	1	紙本墨書 92.5×35.5cm	宮永 光

④美術・工芸資料

○絵 画

品 名	作 者	数量	規 格
雪の河畔	武藤辰平	1	油彩98×128.5cm
絵葉書	青木 繁	1	
かるた	青木 繁	5	水彩 8.7×6.0cm
佐賀風景	青木 繁	1	油彩22.5×30cm
浴女	青木 繁	1	水彩14×24cm

女	1	青木繁作 水彩 $14 \times 45.5\text{cm}$
書(歌)	1	青木繁作 墨 $15 \times 50\text{cm}$
木下秀康大尉像	1	青木繁作 油彩 $73 \times 50\text{cm}$
神陽先生拝楠神図	1	高柳快堂画 副島種臣譲 $109 \times 31\text{cm}$
阿弥陀八大菩薩像	1	絹本着色 $152 \times 85.5\text{cm}$
善財童子歴參図	1	〃 $106.5 \times 59\text{cm}$
楊柳観音像	1	〃 $113 \times 64\text{cm}$
釈迦三尊及眷属像	1	〃 $168 \times 57.2\text{cm}$
釈迦三尊十六善神像	1	〃 $106.5 \times 56.2\text{cm}$

○工芸

品名	数量	規格
彩絵紅梅浮彫龟甲すかし鳥籠	1	磁器 径 36.5cm 高さ 70cm
染錦花鳥文蓋付飾壺	1	伊万里後期 銅径 35cm 高さ 73cm
刀剣など	85	刀剣類30 柄19 小道具26 刀掛4 箱5 磁器1



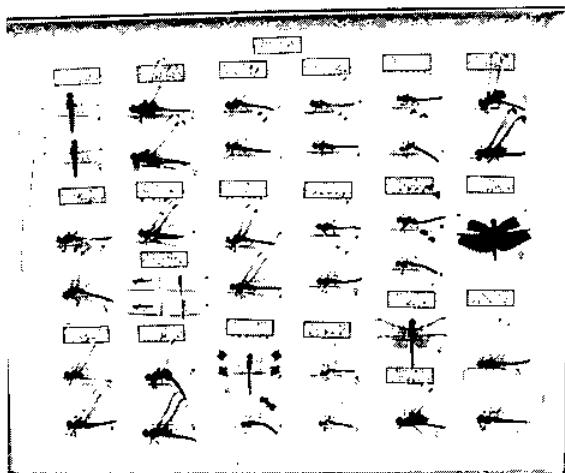
カササギ



ハイタカ



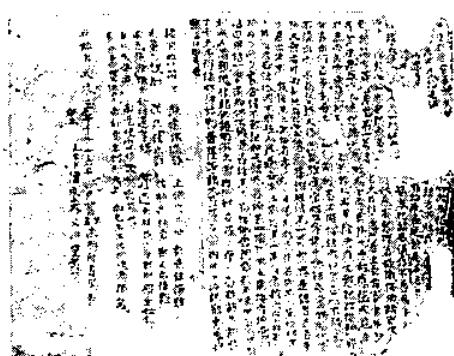
ヨコヤマオウムガイ

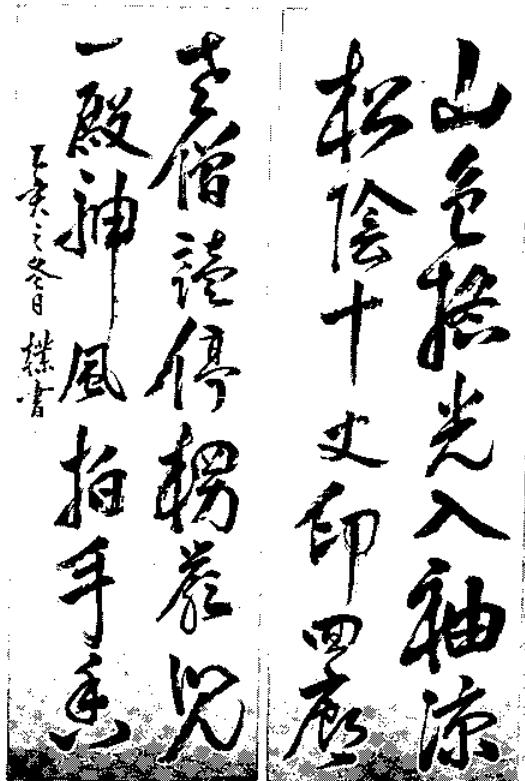


佐賀県のトンボ類

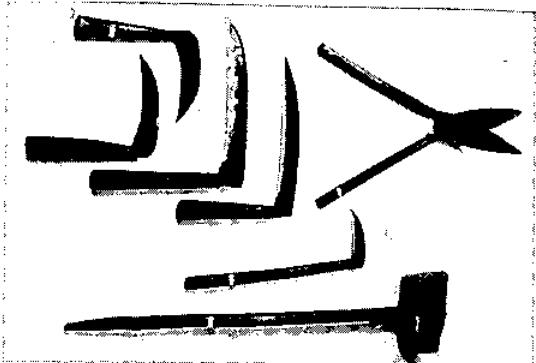


相知町セセリ谷経塚出土遺物

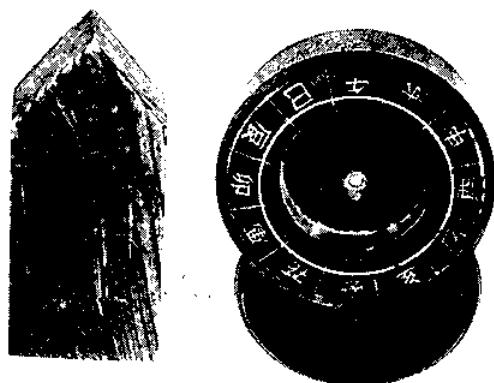




古賀精里の書



屋根葺き用具

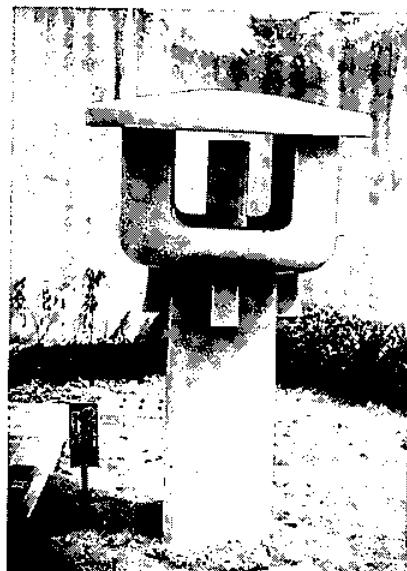


太宝丸船魂

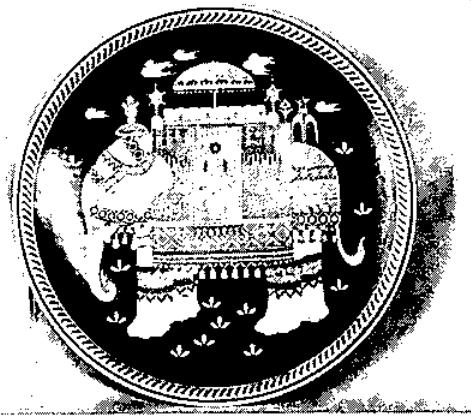
羅針盤



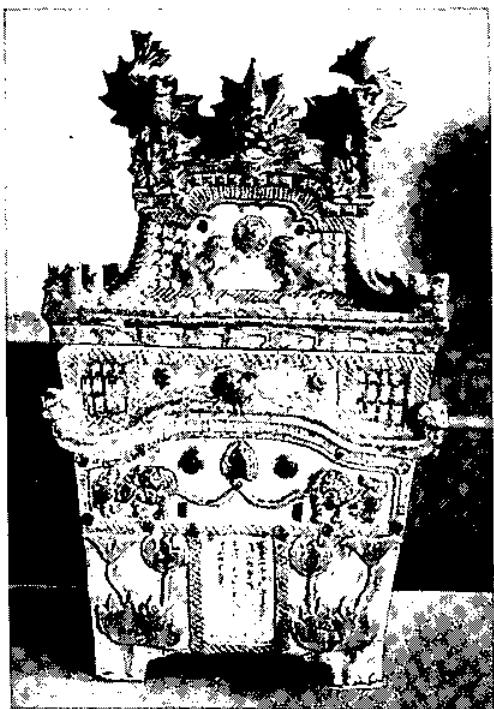
叩き手飴釉壺 古唐津系



磁器梨地燈籠



靈獸文布目五彩大鉢
故 松本佩山作



厨子甕
琉球つぼ屋窯



寂光 田原輝作



黒い牛 高柳種行作

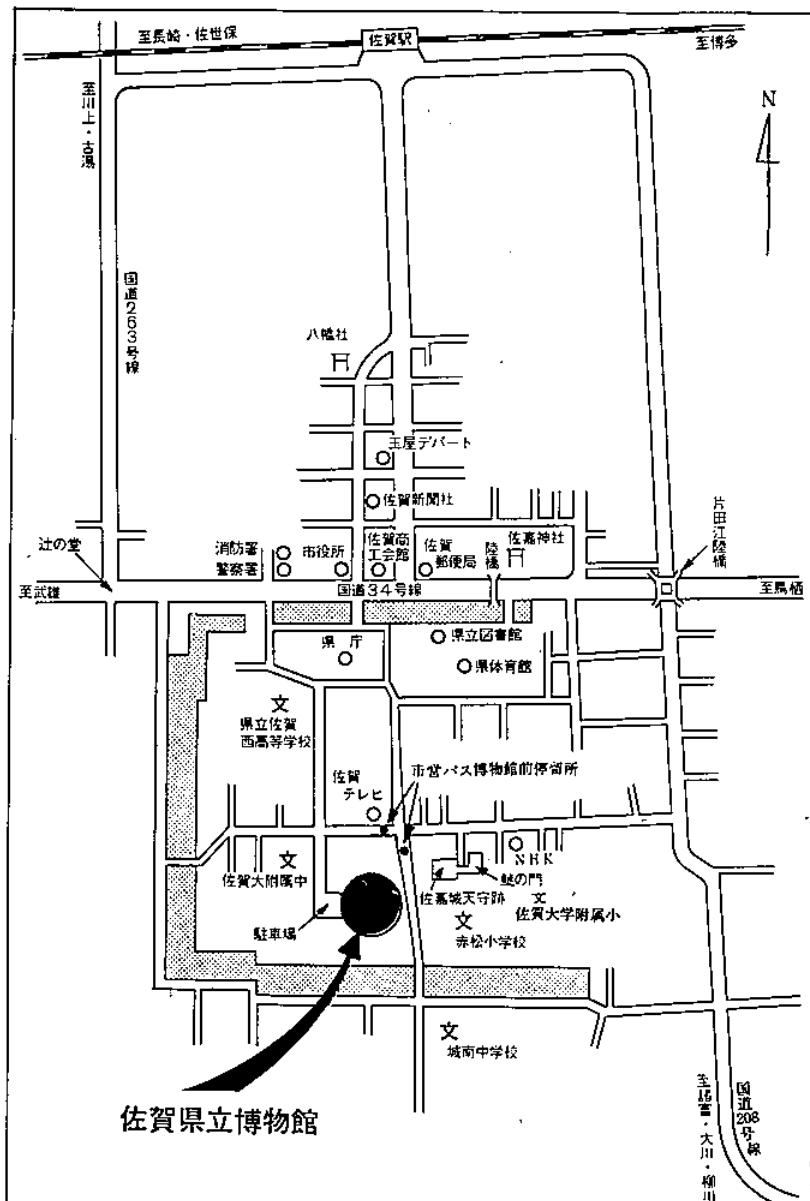
昭和48年度の事業計画

常 設 展			
佐賀県の歴史と文化展	48年4月1日～8月10日 49年1月10日～3月31日	1・2・3号展示室	月曜休館

企 画 展			
展覧会名	会期	会場	備考
野鳥展	48年5月10日～6月5日	大展示室	常設展と併設 月曜休館
佐賀県美術協会60周年記念展	6月15日～6月24日	大・中展示室	常設展と併設 会期中無休
○郷土の先覚者書画展	7月14日～8月10日	大展示室	常設展と併設 月曜休館
日展	8月25日～9月23日	1・2・3号・大・中展示室	会期中無休
理科作品展	9月29日～10月7日	大・中展示室	"
九州沖縄現代工芸展	9月29日～10月5日	3号展示室	"
○装飾古墳壁画展	10月13日～11月4日	1・2・3号・大展示室	"
第23回佐賀県美術展	11月17日～11月25日	1・2・3号・大・中展示室	"
佐賀県高等学校美術展	11月29日～12月4日	大展示室	"
近代文学展	12月1日～12月23日	1・2・3号展示室	月曜休館
新遺跡出土資料展	49年1月20日～2月8日	大展示室	常設展と併設 月曜休館
鍋島藩窯展	3月5日～3月24日	大展示室	"

80頁内外

案 内 図



交 通 機 関

佐賀駅から市営バス市内右廻り
左廻り博物館前下車

各バス（昭和、祐徳、市営）で県庁前下車

南へ300m 徒歩12分

佐賀県立博物館年報 第3号

発行年月日 昭和48年6月1日

編集発行 佐賀市城内1丁目15-23
佐賀県立博物館

印 刷 合資会社 音成印刷所

SAGA PREFECTURAL MUSEUM

15-23 JONAI SAGA CITY JAPAN

佐賀市城内1丁目15-23 〒840

佐賀県立博物館